

新潟職業能力開発短期大学校

能力開発セミナー コースガイド 2025

◎ 新潟職業能力開発短期大学校とは

新潟職業能力開発短期大学校は厚生労働省所管の工科系短大として、平成4年に開校いたしました。学生を対象とした高度な知識と技術・技能を兼ね備えた実践技術者（テクニシャン・エンジニア）の育成を目的とした専門課程と並行し、地域企業に在職されている方々の職業能力開発のため、ものづくり分野を中心としたキャリアアップや技術革新に対応できる技能・技術の向上を総合的に行う公的な研修施設の役割も担っています。

専門課程

技術革新に対応できる高度な知識と技能・技術を兼ね備えた実践技術者（テクニシャン・エンジニア）の育成を目的に設立された「新潟職業能力開発短期大学校」の専門課程（2年制）には、生産技術科（機械系）、電気エネルギー制御科、電子情報技術科及び住居環境科（建築系）の4科（各科定員20名）が設置されています。

当校修了予定者への求人をご検討いただける場合は、「新潟職能短大 求人票」と検索ください。

（当校求人票フォーマット等がダウンロードできます）

新潟職能短大 求人票

検索

能力開発セミナー

イノベーションが求められる産業界では、技術者に求められる専門性も常に高度化しております。能力開発セミナーは、ものづくり現場で活躍する中堅技術・技能者の育成を目的とした在職者向け職業訓練です。

レディメイドセミナー

地域企業の人材育成ニーズに基づき計画したセミナーです。本パンフレット「能力開発セミナーコースガイド」に掲載した各種セミナーコースがあります。

（注意）・日程は変更することもあります。・定員に満たない場合は、中止することもあります。

オーダーメイドセミナー

「能力開発セミナーコースガイド」に掲載したレディメイドセミナーコースでは、日程や時間帯が合わない。また、自社のOff-JTとして研修を実施したい等のご要望を相談のうえ、セミナー計画を作成し実施するコースです。（P44）

生産性向上支援訓練

生産性向上に関する課題やニーズに対応した訓練です。（P48）

受託・共同研究

ものづくり企業の事業主や各種団体等の要請により受託・共同研究を行います。当校のノウハウや技術・設備などを活用することで、最小限の経費で目標とする研究成果を目指すことができます。また、研究成果は当校の学生の教育訓練にも活用し、未来の技術者育成につなげます。

受託研究：当校の教員が研究を受託し、その結果をご報告します。

共同研究：企業のスタッフにもご参加いただき、当校の教員等と共同して研究に取り組みます。

講師派遣・施設設備貸与

社員教育（研修、講習等）をご検討されている事業主等の皆様に、部内講師の派遣を行っております。また、当校の教室・実習場等の施設設備のみの貸与も行っております。（P46、47）

も く じ

新潟職業能力開発短期大学校とは	2
も く じ	3
セミナー受講のご案内	4
各種助成金制度のご案内	5
一覧から探す	6～11
セミナー受講マップ（機械系）	12～13
セミナー受講マップ（電気系）	14
セミナー受講マップ（電子・情報系）	15～16
セミナー受講マップ（居住系）	17～18

能力開発セミナーコース内容

機 械 系

電 気 系

電子・情報系

居 住 系

オーダーメイドセミナーのご案内	44
受講された方々の声をご紹介します	45
施設利用のご案内	46
講師派遣のご案内	47
生産性向上支援訓練のご案内	48
高度ポリテクセンターのご案内	49
北陸ブロック 能力開発セミナー一覧	50～52
北陸ブロック 能力開発施設のご案内	53
よくあるご質問	54
受講申込書	55

ハロートレーニング



ハロトレくん

能力開発セミナーコース内容

機 械 系	材料特性／材料評価	19
	機械設計	19～21
	制御システム設計	21
	機械加工	22～25
	金属加工／成形加工	25～26
	測定・検査	26～27
	生産設備保全	27
	工場管理	27
電 気 系	教育訓練	28
	制御システム設計	29～31
	生産システム設計	32
電 子 ・ 情 報 系	生産設備保全	32
	制御システム設計	33～37
	生産システム設計	37
	通信設備・通信システム設計	38
居 住 系	機器組立／システム組立	38
	建築計画／建築意匠設計	39～41
	建築構造設計	42
	建築施工	43

本パンフレットの掲載コースを別日程でオーダーメイドセミナーとして実施することもできます。

◎ セミナー受講のご案内 [必ずお読みください]

1 お申込み

- 事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。
- 空き状況確認後、「能力開発セミナー受講申込書」(申込書の様式が変更になっております) に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送・持参によりお申し込みください。なお、当短大から申込書到着のご連絡はいたしません。(電話での受付はしておりません。)

2 受講料の納入

- セミナー開講日の10日前までを目途に「受講決定通知書」「受講票」及び受講料払い込み口座等を記載した「請求書」を送付いたします。なお、お手元に届かない場合には、お手数でもご連絡ください。
- セミナー開講日の7日前までに銀行へ受講料を払い込みください。(振込手数料は受講者負担となります。また、現金でのお取り扱いも行っておりませんのでご了承ください。)

3 キャンセルまたは受講者の変更

- お申し込み後の「キャンセル」は、開講日の7日前までに学務援助課へ必ずご連絡ください。(受講料をお振込み後、開講日の7日前までのキャンセルについては、受講料を返金いたします。開講日前6日以内のキャンセルについては、受講料の返還はできませんのでご了承ください。)
- 受講者の変更は開講日前日までに学務援助課へご連絡ください。

4 コースの中止と変更

- 受講申し込みが一定の人数に達していない場合等により中止または日程変更をさせていただく場合がありますのであらかじめご了承ください。
その場合は、セミナー開始日までに文書または電話にてご連絡いたします。
なお、中止になった場合は、納入いただいた受講料は返金いたします。

5 セミナー受講

- 開講初日は、受講票をお持ちになり、受講票に記載されている会場へ、直接、お入りください。本館玄関入口及び会場付近に会場案内が掲示してあります。
- 自然災害等(特別警報発令時)に対するセミナー休止措置について
能力開発セミナーにおいては、自然災害発生時等でも可能な範囲で平常どおり開講する方針です。しかし、受講者の安全確保のため、セミナーの休止等の措置を講じることがあります。自然災害等(特別警報発令時)に対するセミナー休止に関する情報は当校公式X(旧Twitter)でお知らせいたします。また休止後の代替措置については後日ご連絡いたします。
- アンケート調査のお願い
全てのコースについて、セミナーをより良いものにするため、受講者及びその事業主の方に対して、コース内容に関する満足度等についてのアンケート調査への回答をお願いしております。なお、一部のコースについては、後日、コース内容の活用状況についても同様をお願いしております。



当校公式X
(旧Twitter)

◎ 各種助成金制度のご案内

当校の講習会を受講する際に利用できる事業主を対象とした助成金制度があります。事業所規模や業種、経費の額(受講料他)等に係る条件を満たした場合のみ対象となります。詳しくは各助成金の窓口までお問い合わせください。(事後申請はできないのでご注意ください)

1 市町村の助成金(セミナー受講料・旅費の一部助成)

新潟市 人材育成助成金・補助金

■事務局・問い合わせ先

新潟市 各区役所担当課

北区役所産業振興課	TEL 025-387-1356	東区役所地域課	TEL 025-250-2170
中央区役所地域課	TEL 025-223-7054	江南区役所産業振興課	TEL 025-382-4809
秋葉区役所産業振興課	TEL 0250-25-5689	南区役所産業振興課	TEL 025-372-6507
西区役所農政商工課	TEL 025-264-7630	西蒲区役所産業観光課	TEL 0256-72-8454

村上市 人材育成サポート事業補助金

■事務局・問い合わせ先 村上市地域経済振興課 TEL 0254-75-8942

胎内市 中小企業等支援事業補助金 育てる支援事業「研修参加費」

■事務局・問い合わせ先 胎内市商工観光課 TEL 0254-43-6111

阿賀野市 中小企業人材育成支援事業補助金

■事務局・問い合わせ先 阿賀野市商工観光課 TEL 0250-62-2510

燕市 研修受講料補助制度

■事務局・問い合わせ先 燕市商工振興課 TEL 0256-77-8231

聖籠町 中小企業人材育成事業補助金

■事務局・問い合わせ先 聖籠町産業観光課 TEL 0254-27-2111

関川村 むらづくり総合推進事業 人材育成事業

■事務局・問い合わせ先 関川村地域政策課 TEL 0254-64-1478

上記は当校周辺市町村の助成制度です。新潟県内の他の市町村でも、人材育成事業に係る助成金を設けているところがあります。事業所所在地の市町村にご照会ください。

2 国の助成金

人材開発支援助成金

従業員に能力開発セミナーや生産性向上訓練を受講させた事業主に対し、訓練期間中の経費や賃金の一部助成をします。助成メニューは以下の7類型です。それぞれの助成要件が異なりますので、厚生労働省のホームページをご確認ください。なお、「障害者職業能力開発コース」は、令和6年度から当機構が支給業務を行う「障害者能力開発助成金」(新設)へ移管しました。

- 1 人材育成支援コース 2 教育訓練休暇等付与コース 3 建設労働者認定訓練コース
4 建設労働者技能実習コース 5 人への投資促進コース 6 事業展開等リスティング支援コース

中小企業の定義 中小企業基本法第2条第1項に規定する中小企業者

区 分	資本金の額	従業員数
製造業・運輸業・建設業等	3億円以下	300人以下
卸売業	1億円以下	100人以下
サービス業	5千万円以下	100人以下
小売業	5千万円以下	50人以下

一覧から探す

【機 械 系】

分類	コース番号	コ ー ス 名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
材料特性／材料評価	2M694	金属材料の理論と実際(長岡会場) 	19	10	12	9:30~16:30	12,500	2
機 械 設 計	2M470	機械設計のための総合力学	19	10	14	9:00~17:00	9,500	2
	2M700	2次元CADによる機械製図技術	19	10	12	9:30~16:30	9,500	2
	2M701		19	10	12	9:30~16:30	9,500	2
	2M530	実践機械製図	20	10	14	9:00~17:00	10,500	2
	2M531		20	10	14	9:00~17:00	10,500	2
	2M691	切削加工を考慮した機械設計製図(長岡会場) <「めっちゃ使える!設計目線で見る部品加工の基礎知識」の共著者が教える設計製図>	20	10	12	9:30~16:30	15,000	2
	2M692	幾何公差の解釈と活用演習(長岡会場) <「図面って、どない描くねん!」の著者が教える幾何公差>	20	10	12	9:30~16:30	18,000	2
	2M950	幾何公差の解釈と活用演習	21	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2M710	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	21	10	12	9:30~16:30	10,500	2
	2M711		21	10	12	9:30~16:30	10,500	2
制御システム設計	2M460	空気圧実践技術(空気圧装置組立て)	21	10	14	9:00~17:00	11,500	2
機 械 加 工	2M480	切削加工の理論と実際	22	10	12	9:30~16:30	9,500	2
	2M630	フライス盤加工技術	22	5	12	9:30~16:30	16,000	2
	2M500	NC旋盤プログラミング技術(プログラム編)	22	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2M510	NC旋盤プログラミング技術(応用プログラム編)	23	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2M520	NC旋盤加工技術	23	10	18	9:30~16:30	18,000	3
	2M300	マシニングセンタプログラミング技術	23	10	12	9:30~16:30	11,500	2
	2M310	マシニングセンタ加工技術	24	10	12	9:30~16:30	11,500	2
	2M490	CAM技術	24	10	14	9:00~17:00	12,000	2
	2M960	機械組立仕上げのテクニック(やすり編)	24	10	18	9:30~16:30	22,500	3
成 形 加 工	2M970	機械組立仕上げのテクニック(きさげ編)	25	10	18	9:30~16:30	22,500	3
	2M940	金型の補修溶接技術(手仕上げ)	25	10	12	9:30~16:30	18,500	2
	2M920	金型の鏡面みがき技法<金型磨き一般から鏡面まで>	25	10	14	9:00~17:00	20,500	2
測 定 ・ 検 査	2M693	鉄鋼材料の熱処理技術(長岡会場) <鉄鋼材料の材料特性と活用技術>	26	10	12	9:30~16:30	19,000	2
	2M640	精密測定技術(機械検査編)	26	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2M641		26	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2M650	精密測定技術(精度管理編)	26	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2M651		26	10	12	9:30~16:30	8,000	2
保 全	2M430	計測における信頼性(不確かさ)の評価技術	27	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2M450	生産現場の機械保全技術(機械系実技)	27	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2M451		27	10	12	9:30~16:30	8,500	2
工場管理	2M440	生産現場に活かす品質管理技法	27	10	12	9:30~16:30	8,500	2
教 育 訓 練	2M610	プレゼンテーションテクニック(オンライン含む)(長岡会場)	28	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2M620	プレゼンテーションテクニック(長岡会場)	28	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2M930	製造現場で活用するコーチング手法	28	10	18	9:30~16:30	18,500	3

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	13.14										
			15.17								
	10.17										
		7.14									
21.22											
								10.11			
		3.4									
					9.10						
		12.13									
				4.5							
					20.27						
							19.21				
	16.19										
				5.6							
	20.21										
		23.24									
			16.17.18								
		10.11									
			2.3								
		18.19									
	30	4.6									
			9.10.11								
		26.27									
						23.24					
						7.8					
		24.25									
						28.29					
			15.16								
							18.19				
					2.4						
	23.30										
							5.7				
					9.11						
15.16											
											24.25
						20.21.22					

● 一覧から探す

【電 気 系】

分類	コース番号	コ ー ス 名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
制御システム設計	2D000	有接点シーケンス制御の実践技術	29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D001		29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D002		29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D003	有接点シーケンス制御の実践技術(長岡会場)	29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D010	シーケンス制御による電動機制御技術	29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D011		29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D020	P L C制御の回路技術(Qシリーズ編)	29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D021		29	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D023	P L C制御の回路技術(FXシリーズ編)	30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D030	P L C制御の応用技術	30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D031		30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D040	P L Cプログラミング技術 (SFC編)	30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D041		30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D042	P L Cプログラミング技術 (SFC編) (長岡会場)	30	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D050	P L Cによるタッチパネル活用技術	31	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D051		31	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D060	P L Cによる通信システム構築技術 (C#編)	31	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D061	P L Cによる通信システム構築技術 (C#編) (長岡会場)	31	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D070	P L Cによる位置決め制御技術	31	5	12	9:30~16:30	15,500	2
生産システム設計	2D080	無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術 (MicroPython編)	32	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D081	無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術 (MicroPython編) (長岡会場)	32	10	12	9:30~16:30	12,000	2
生産設備保全	2D090	電気系保全実践技術	32	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D100	現場のための電気保全技術	32	10	12	9:30~16:30	12,000	2
	2D101		32	10	12	9:30~16:30	12,000	2

【電子・情報系】

分類	コース番号	コ ー ス 名	頁数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
制御システム設計	2D600	マイコン制御システム開発技術	33	10	12	9:30~16:30	16,500	2
	2D702	表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング	33	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2D501	組込み技術者のためのプログラミング (C言語・P I C編)	33	10	12	9:30~16:30	13,000	2
	2D502		33	10	12	9:30~16:30	13,000	2
	2D917	リアルタイムOSによる組込みシステム開発技術 	34	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D918	組込みOS実装技術<Linuxによる組込みシステム開発> 	34	10	18	9:30~16:30	11,500	3
	2D800	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python言語編)	34	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D801		35	10	12	9:30~16:30	8,000	2

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23.24											
					10.11						
											12.13
				20.21							
	22.23										
							12.13				
	15.16										
					11.12						
			31	1							
		19.20									
							6.7				
				6.7							
									14.15		
								1.2			
		24.25									
									27.28		
				20.21							
							6.7				
				25.26							
								18.19			
			3.4								
							18.19				
		18.19									
							11.12				

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
			8.9								
								25.26			
	1.2										
				21.22							
		3.4									
			1.2.3								
		7.14									
			31	1							

● 一覧から探す

分類	コース番号	コース名	ページ数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
制御システム設計	2D503	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術	35	10	12	9:30~16:30	13,000	2
	2D919	クラウドを利用した組込みマイコン活用技術 	35	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D920	クラウド活用によるIoTシステム構築技術 	36	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D700	実習で学ぶ画像処理・認識技術	36	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2D802	ディープラーニングシステム開発技術	36	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2D803	オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能（AI）活用技術	37	10	12	9:30~16:30	8,000	2
生産システム設計	2D601	Webを活用した生産支援システム構築技術（サーバサイドPHP編）	37	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2D602		37	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2D603	Webを活用した生産支援システム構築技術（ASP、Net編）	37	10	12	9:30~16:30	8,500	2
通信設備・通信システム設計	2D703	有線・無線通信プロトコルの解析・評価手法 	38	10	12	9:30~16:30	7,500	2
	2D701	製造現場におけるLAN活用技術	38	10	12	9:30~16:30	7,500	2
機器組立／システム組立	2D504	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術	38	10	12	9:30~16:30	13,000	2

【居住系】

分類	コース番号	コース名	ページ数	定員	受講時間	実施時間帯	受講料	日数
建築計画／建築意匠設計	2H010	BIMを用いた建築設計技術	39	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H020	住宅計画実践技術	39	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H030	実践建築設計3次元CAD技術（マイホームデザイナーモデリング編）	39	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H031		39	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H040	実践建築設計3次元CAD技術（SketchUp編） 	40	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H050	実践建築設計2次元CAD技術（Jw_cad編）	40	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H051		40	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H060	実践建築設計2次元CAD技術（AutoCAD編）	40	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H070	ARを活用した建築プレゼンテーション技法	41	10	12	9:30~16:30	8,000	2
	2H080	実践建築設計3次元CAD技術（設計図面とプレゼンテーション編）	41	10	12	9:30~16:30	9,500	2
	2H081		41	10	12	9:30~16:30	9,500	2
	2H090	地理情報システムの運用技術	41	10	12	9:30~16:30	8,000	2
建築構造設計	2H100	木造住宅における壁量計算技術	42	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H110	木造住宅の架構設計技術	42	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H111		42	10	12	9:30~16:30	8,500	2
	2H120	木造住宅における許容応力度設計技術	42	10	12	9:30~16:30	11,000	2
建築施工	2H140	住宅建築測量技術 	43	10	12	9:30~16:30	10,500	2
	2H141		43	10	12	9:30~16:30	10,500	2

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
							11.12				
							18.19				
								2.3			
				21.22							
				7.8							
								13.20			
			15.16								
					9.10						
					2.3						
											23.24
						2.3					
											17.18

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				1.8							
18.25											
			8.15								
								4.11			
			30	6							
	13.20										
						23.30					
	23.30										
				21.22							
	28.29										
		18.19									
					30	1					
									7.14		
	22.29										
							7.14				
				30	6						
21.28											
					4.11						

◎ セミナー受講マップ

【機械系コース】

機械設計・製図・CAD

2次元CADによる
機械製図技術

2M700・2M701 19ページ

3次元CADを活用した
ソリッドモデリング技術

2M710・2M711 21ページ

実践機械製図

2M530・2M531 20ページ

切削加工を考慮した機械設計製図
＜「めっちゃ使える!設計目線で見える部品加工の
基礎知識」の共著者が教える設計製図＞

(ポリテクセンター新潟)

2M691 20ページ

幾何公差の解釈と活用演習

2M950 21ページ

幾何公差の解釈と活用演習
＜「図面って、どない描くねん!」の
著者が教える幾何公差＞

(ポリテクセンター新潟)

2M692 20ページ

機械設計のための総合力学

2M470 19ページ

機械保全

生産現場の機械保全技術(機械系実技)

2M450・2M451 27ページ

空気圧実践技術(空気圧装置組立て)

2M460 21ページ

精密測定

精密測定技術(機械検査編)

2M640・2M641 26ページ

精密測定技術(精度管理編)

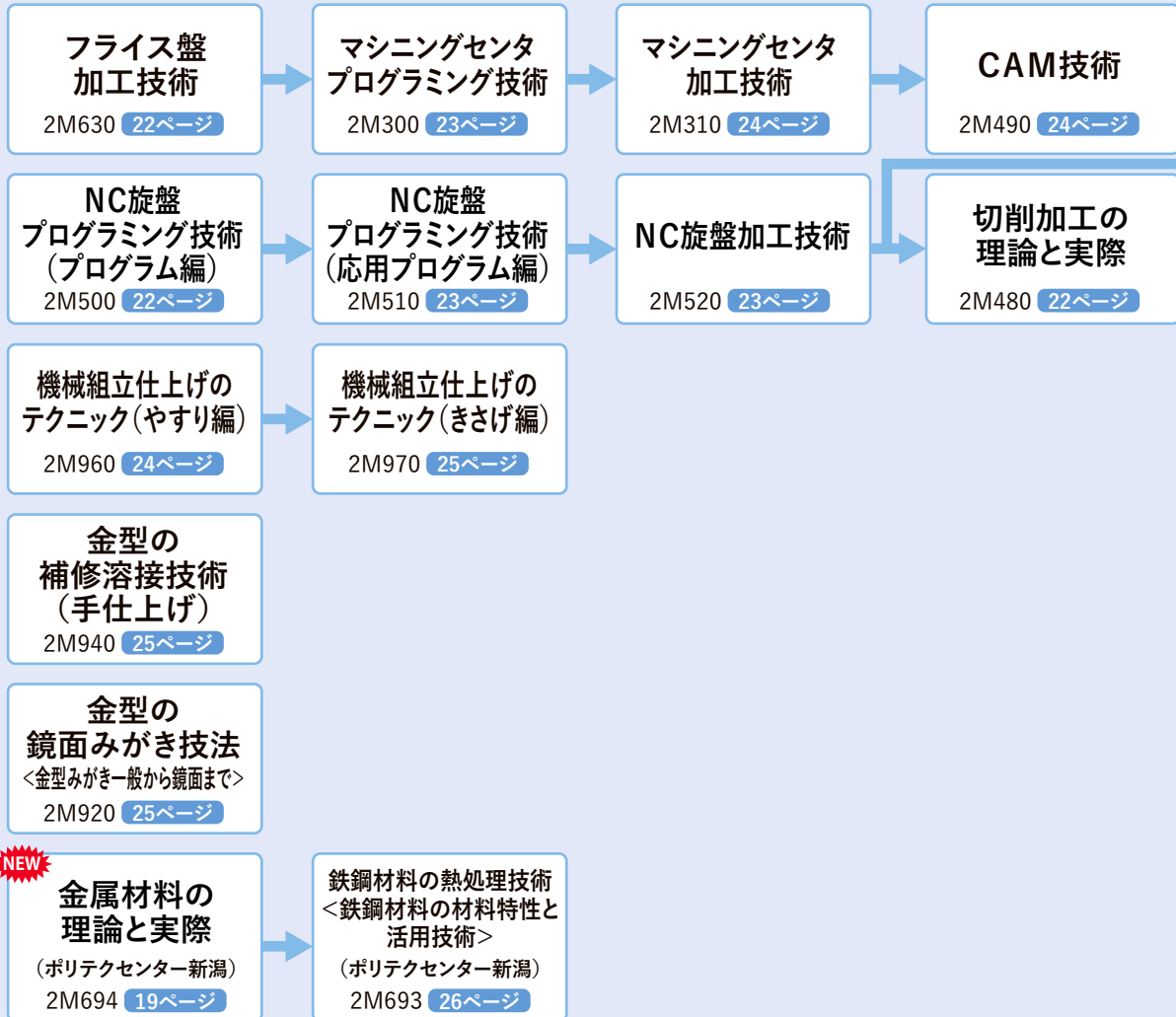
2M650・2M651 26ページ

計測における信頼性(不確かさ)
の評価技術

2M430 27ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

機械加工・手仕上げ・熱処理



生産管理・教育・品質管理



※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【電気系コース】

制御技術分野（有接点、PLC等による制御関連の技術を習得したい方）



電気設備分野（電気設備の保守・点検技術を習得したい方）

現場のための電気保全技術

2D100・2D101 32ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【電子・情報系コース】

マイコン分野（マイコン技術を習得したい方）

組込み技術者のためのプログラミング
（C言語・PIC編）

2D501・2D502 33ページ

マイコン制御システム開発技術

2D600 33ページ

NEW

リアルタイムOSによる
組込みシステム開発技術

2D917 34ページ

NEW

組込みOS実装技術
＜Linuxによる組込みシステム開発＞

2D918 34ページ

NEW

クラウドを利用した組込み
マイコン活用技術

2D919 35ページ

NEW

クラウド活用による
IoTシステム構築

2D920 36ページ

通信分野（インターネット技術を習得したい方）

製造現場におけるLAN活用技術

2D701 38ページ

NEW

有線無線プロトコルの解析・評価

2D703 38ページ

Webを活用した生産支援
システム構築技術（ASP、Net編）

2D603 37ページ

Webを活用した生産支援システム
構築技術（サーバサイドPHP編）

2D601・602 37ページ

表計算ソフトを活用した
データ通信プログラミング

2D702 33ページ

画像処理（画像処理技術を習得したい方）

実習で学ぶ画像処理・認識技術

2D700 36ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

AI分野（AI技術を習得したい方）

オブジェクト指向による
組込みプログラム開発技術(Python言語編)

2D800 [34ページ](#) 2D801 [35ページ](#)

ディープラーニングシステム
開発技術

2D802 [36ページ](#)

オープンソフトウェアライブラリを
用いた人工知能(AI)活用技術

2D803 [37ページ](#)

IoT分野（IoT技術を習得したい方）

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

2D503 [35ページ](#)

電子機器組み立て分野（はんだ付け技術を習得したい方）

基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術

2D504 [38ページ](#)

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

【居住系コース】

建築図面作成技術（CADを習得したい方）

実践建築設計2次元CAD技術(jw_cad編)

2H050・2H051 40ページ

実践建築設計2次元CAD技術(AutoCAD編)

2H060 40ページ

建築図面作成技術（3DCADを習得したい方）

実践建築設計3次元CAD技術
(マイホームデザイナーモデリング編)

2H030・2H031 39ページ

NEW

実践建築設計3次元CAD技術
(SketchUp編)

2H040 40ページ

実践建築設計3次元CAD技術
(設計図面とプレゼンテーション編)

2H080・2H081 41ページ

BIMを用いた建築設計技術

2H010 39ページ

DX関連技術

CPD認定コース(予定)

ARを活用した建築プレゼンテーション技法

2H070 41ページ

CPD認定コース(予定)

地理情報システムの運用技術

2H090 41ページ

BIMを用いた建築設計技術

2H010 39ページ

※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

建築計画実践技術（実践的な図面等作成）

住宅計画実践技術

2H020 39ページ

木造住宅の架構設計技術

2H110・2H111 42ページ

木造住宅における壁量計算技術

2H100 42ページ

木造住宅における 許容応力度設計技術

2H120 42ページ

建築測量技術

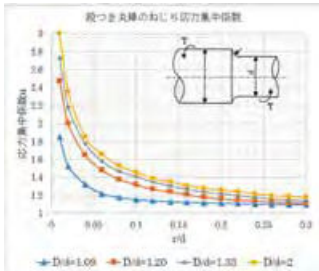
NEW

住宅建築測量技術

2H140・2H141 43ページ

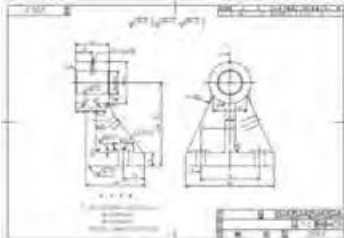
※この順序で受講されることをお勧めしますが、ご希望によりどのコースからでも受講できます

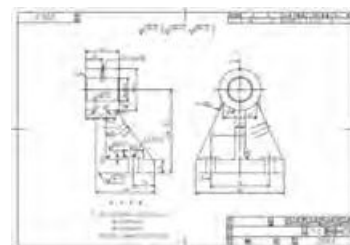
NEW 金属材料の理論と実際					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M694	5/13(火)・14(水)	9:30~16:30	12H	10名	12,500円
対象者	金属、合金材料の特性・理論等の基本から応用を学びたい、学びなおしたい方				
概要	機械材料（金属、合金材料）選定に関し、各種金属、合金の材料特性や評価に関する知識・技術を習得する。				
講習内容	1. 合金理論、合金の定義 2. 合金の構成要素（固溶体と金属化合物） 3. 状態図に基づく金属組織の解読法 4. 金属素形材の製造法 5. 材料強化理論 6. まとめ 講師：石崎 幸三 氏 （元 長岡技術科学大学副学長、教授） （シモンポリバール大学名誉教授） （ハノイ工科大学名誉博士） ※会場：ポリテクセンター新潟（長岡市）				
テキスト	資料				
持参品	筆記用具、ノート				

機械設計のための総合力学					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M470	7/15(火)・17(木)	9:00~17:00	14H	10名	9,500円
対象者	機械設計製図業務に従事している方またはその候補者				
概要	材料力学を理解しその応用としての機械要素設計全般（軸・軸受・歯車）を習得する。				
講習内容	1. 材料力学 2. 機械要素設計 （軸、軸受、歯車） 3. 歯車減速機の設計妥当性の検討演習 				
使用機器					
持参品	筆記用具、関数電卓				

2次元CADによる機械製図技術					
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M700	5/10(土)・17(土)	9:30～16:30	12H	10名	9,500円
2M701	6/7(土)・14(土)				
対 象 者	短期で操作方法など身につけたい方。これからCAD作業に従事する予定の方				
概 要	機械設計業務の効率化をめざして、CADの効率的な使用方法およびデータ管理等の知識、技能を習得します。				
講習内容	1. 図面作成におけるCADソフトの操作方法 2. データ作成（作図機能、編集機能など） 3. 寸法等記入法 4. 各種課題		 CAD機械製図実習		
使用機器	2次元CADシステム（AutoCAD）				
持 参 品	筆記用具				

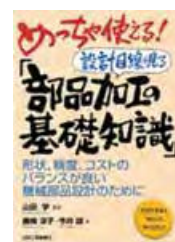
実践機械製図

実践機械製図					
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M530	4/21(月)・22(火)	9:00～17:00	14H	10名	10,500円
2M531	12/10(水)・11(木)				
対 象 者	機械設計製図業務に従事している方またはその候補者				
概 要	機械製図に関する基本的かつ総合的な知識、技能を実習を通して習得する。				
講習内容	1. 製図一般 (1)投影図、等角図、補助投影図、断面図 (2)寸法記入 (3)表面性状 等 2. まとめの課題				
使用機器	製図道具一式				
持 参 品	筆記用具				



切削加工を考慮した機械設計製図 <「めっちゃ使える! 設計目線で見える部品加工の基礎知識」の共著者が教える設計製図>

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M691	6/3(火)・4(水)	9:30～16:30	12H	10名	15,000円
対 象 者	機械設計製図の業務に従事する方、または今後従事する予定のある方				
概 要	機械加工の生産性向上を目指して、切削加工に適した機械製図技術を習得する。				
講習内容	1. 機械製図概要 2. 機械図面の理解、形状の把握 3. 形状からの図面の展開 4. 工作機械・工具を考慮した機械図面 5. 加工を考慮した機械製図 6. 各種課題 講師：やなか技術士事務所 代表取締役技術士 今井 誠 氏 ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市)				
テキスト	・図解力・製図力おちゃのこさいさい-図面って、どない描くねん! LEVEL0 ・図面って、どない描くねん! (第2版) -現場設計者が教えるはじめての機械製図				
持 参 品	筆記用具				

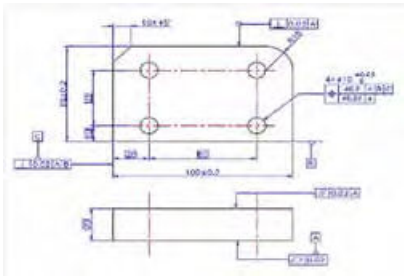


幾何公差の解釈と活用演習 <「図面って、どない描くねん!」の著者が教える幾何公差>

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M692	9/9(火)・10(水)	9:30～16:30	12H	10名	18,000円
対 象 者	製品の設計・開発、生産技術等の業務に従事する技能・技術者であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概 要	効率化、適正化、最適化(改善)に向けた機械設計における幾何公差の実習を通じて、最新JIS規格に即した幾何公差の正しい解釈及び活用技術を習得する。				
講習内容	1. 幾何特性について 2. 形状公差 3. 姿勢公差 4. 位置公差 5. 振れ公差 6. 測定・加工の知識 講師：株式会社ラブノーツ代表取締役技術士 (機械部門) 山田 学 氏 著者が長岡にやってくる! ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市)				
テキスト	「図面って、どない描くねん! LEVEL2」				
持 参 品	筆記用具、4色ボールペン				



幾何公差の解釈と活用演習

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M950	6/12(木)・13(金)	9:30～16:30	12H	10名	8,500円
対 象 者	製品の設計・開発、生産技術等の業務に従事している方またはその候補者				
概 要	最新JIS規格に即した幾何公差の正しい解釈及び活用技術、測定技術を習得する。				
講習内容	・寸法公差と幾何公差の関係 ・幾何公差の解釈と活用方法 ・主な幾何公差の検証実習 				
使用機器	3次元測定機ほか各種測定機器				
持 参 品	筆記用具				

3次元CADを活用したソリッドモデリング技術

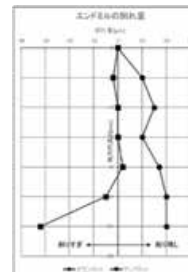
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M710	8/4(月)・5(火)	9:30～16:30	12H	10名	10,500円
2M711	9/20(土)・27(土)				
対 象 者	短期で操作方法など身につけたい方。これから3DCAD作業に従事する予定の方				
概 要	ものづくりにおけるプロセスの効率化・最適化に向け、3次元CADに関する知識、技能を習得する。				
講習内容	1. 3次元CAD技術について 2. 2次元スケッチ 3. 基本ツールによるモデリング 4. 部品図のモデリングおよびアセンブリ技術				
使用機器	3次元CADシステム (CATIA)				
持 参 品	筆記用具				

空気圧実践技術（空気圧装置組立て）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M460	11/19(水)・21(金)	9:00～17:00	14H	10名	11,500円
対 象 者	空気圧装置の組立・保全業務などに従事している方またはその候補者				
概 要	空気圧回路組立実習を通して、空気圧機器の構造、回路図記号、主要制御回路を理解し、空気圧回路構築に関する技能と技術を習得する。				
講習内容	1. 空気圧の概要 2. 空気圧機器の構成 3. 課題実習（空気圧装置組み立て作業課題） 				
使用機器	測定器具一式				
持 参 品	筆記用具				

切削加工の理論と実際

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M480	5/16(金)・19(月)	9:30～16:30	12H	10名	9,500円
対 象 者	切削加工業務に従事している方またはその候補者				
概 要	切削加工の理論を理解し、実験を通じて実際への適用について習得する。				
講習内容	1. 切削の理論 2. 切削検証実験 (1)送りと仕上げ面粗さ及び切り屑処理 (2)エンドミル突き出し長さと表面粗さ及び倒れ量				
使用機器	普通旋盤、フライス盤				
持 参 品	筆記用具、関数電卓				

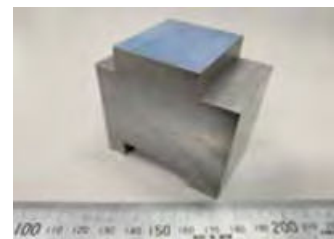


フライス盤加工技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M630	8/5(火)・6(水)	9:30～16:30	12H	5名	16,000円
対 象 者	フライス加工技術の基本から応用を学びたい、学び直したい方				
概 要	汎用機械加工技術の向上を目指し、効率化、最適化(改善)、安全性向上に向けた加工実習を通して、サンプルを実際に加工することで、加工条件計算などを含む加工方法の検討や段取り等、実践的なフライス作業に関する技能・技術を習得する。				
講習内容	1. フライス盤の操作・取扱い 2. 加工実習 ①図面検討 ②加工工程の検討 ③必要工具、測定具 ④加工・測定・評価				
使用機器	汎用フライス盤				
持 参 品	筆記用具、作業機、帽子、安全靴、電卓				



汎用フライス盤



作製するサンプル

NC旋盤プログラミング技術（プログラム編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M500	5/20(火)・21(水)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
対 象 者	機械加工作業に従事する方、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概 要	NC機械加工の生産性向上をめざして、プログラムに関する技術を習得する。				
講習内容	1. NC旋盤の概要 2. プログラミングの基礎 3. 早送り、直線補間、円弧補間 4. 準備機能、補助機能、工具機能など ※本コースはFANUC主体のプログラミング実習です ※本コースは2M510とセット受講をお勧めしております				
使用機器	シミュレーションソフト				
持 参 品	筆記用具、電卓				

```

プログラム(F) 編集(E) 実行(R) 表示(V) ヘルプ(H)
G1 (TAMEN-R)
Z50S2000
G40G2X0.0500,0.2500,0
G1Z500
T0200.0M42
M03M05
X102.0Z15.0
G40S200
Z2.0
G39H10001.0W0.2F0.3
M100382
G41G0.20
G01X33.0F0.1
G40G0.22.0
G20
G0Z7500
G1X0.500,0.2500,0M09M09
M01
  
```


マシニングセンタ加工技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M310	7/2(水)・3(木)	9:30~16:30	12H	10名	11,500円
対 象 者	機械加工に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者				
概 要	NC機械加工の生産性向上を目指して、効率化、最適化（改善）に向けた加工実習を通して、高精度・高能率技能・技術を習得する。				
講習内容	1. 段取り作業のポイント 2. ワーク座標系設定 3. プログラムチェック（描画・エアカット） 4. 実加工 ※本コースはOSP主体のプログラミング実習です ※本コース受講前に2M300コースの受講をお勧めしております				
使用機器	マシニングセンタ（OKUMA MB-56VA）				
持 参 品	筆記用具、電卓、作業服、作業帽、安全靴、保護メガネ				



CAM技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M490	6/18(水)・19(木)	9:00~17:00	14H	10名	12,000円
対 象 者	CAD/CAMやマシニングセンタ加工に従事する技能・技術者またはその候補者				
概 要	CAMによる加工データ作成実習を通じて高精度・高能率加工に対応できる加工データを作成する技術を習得する。				
講習内容	1. CAM操作方法（CATIA・2. 5次元） 2. CAM操作方法（CATIA・3次元） 3. シミュレーションによる確認				
使用機器	CAD/CAMソフト（CATIA）、マシニングセンタ（OKUMA MB-56VA）				
持 参 品	筆記用具				



機械組立仕上げのテクニック（やすり編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M960	5/30(金)・6/4(水)・6(金)	9:30~16:30	18H	10名	22,500円
対 象 者	機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等またはその候補者				
概 要	仕上げ加工の現場力強化を目指して、高精度で高能率な機械組立仕上げのテクニックを習得する。				
講習内容	1. 課題図の検討、工具・測定具の調整 2. 課題実習（機械組立仕上げ作業課題（やすり仕上げ）） 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 常泉 善男 氏 ●黄綬褒章受章●ものづくり日本大賞 ●現代の名工				
使用機器	やすり各種、測定器具各種、定盤、けがき用具、ボール盤				
持 参 品	仕上げ作業用治工具一式、筆記用具				



機械組立仕上げのテクニック（きさげ編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M970	7/9(水)・10(木)・11(金)	9:30～16:30	18H	10名	22,500円
対 象 者	機械組立・調整業務に従事する技能・技術者等またはその候補者				
概 要	仕上げ加工の現場力強化を目指して、高精度で高能率な機械組立仕上げのテクニックを習得する。				
講習内容	1. 課題図の検討、工具・測定具の調整 2. 課題実習（機械組立仕上げ作業課題（きさげ仕上げ）） 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 常泉 善男 氏 ●黄綬褒章受章●ものづくり日本大賞 ●現代の名工				
使用機器	やすり各種、きさげ各種、測定器具各種、定盤、けがき用具、ボール盤				
持 参 品	仕上げ作業用治工具一式、筆記用具				



金型の補修溶接技術（手仕上げ）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M940	6/26(木)・27(金)	9:30～16:30	12H	10名	18,500円
対 象 者	射出成型金型での成形品の不具合対策・保全に従事している方またはその候補者				
概 要	プラスチック金型のメンテナンス方法について講義・実習を通して習得する。				
講習内容	1. プラスチック金型のトラブル対策 2. 溶接補修と手仕上げ技能の要点 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 白井 成三 氏 ●黄綬褒章受章●現代の名工				
使用機器	肉盛用TIG溶接機、他				
持 参 品	電卓、筆記用具、作業服、作業帽、保護メガネ				



金型の鏡面磨き技法＜金型磨き一般から鏡面まで＞

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M920	10/23(木)・24(金)	9:00～17:00	14H	10名	20,500円
対 象 者	射出成形等の金型製作・保全に従事している方またはその候補者				
概 要	プラスチック金型の金型鏡面仕上げ技術について、実習を通して習得する。				
講習内容	1. 金型の部位・形状別のみがきの要点 2. 機器によるみがきの要点、鏡面研磨実習・演習 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 白井 成三 氏 ●黄綬褒章受章●現代の名工				
使用機器	実体顕微鏡、回転工具他				
持 参 品	電卓、筆記用具、作業服、作業帽、保護メガネ				



鉄鋼材料の熱処理技術＜鉄鋼材料の材料特性と活用技術＞

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M693	10/7(火)・8(水)	9:30～16:30	12H	10名	19,000円
対 象 者	鉄鋼材料の基礎的特性・加工・表面処理技術等を学びたい、学びなおしたい方				
概 要	加工時間やコストの削減を目指し、鉄鋼材料の知識と各種加工、表面処理方法等生産に係る作業の特性に応じ、適切な条件で活用できるよう知識・技術を習得する。				
講習内容	1. 鉄鋼材料の特性を生み出す元素と結晶 2. 鉄の特性 3. 鉄鋼材料の種類と用途 4. 熱処理の種類と目的 5. 材料特性に合わせた切削加工の知識 講師：ソフィアフロント 横山 明宜 氏 (元サンドビック株式会社) ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市)				
テキスト	「元素から見た鉄鋼材料と切削の基礎知識」横山明宜著				
持 参 品	筆記用具、ノート				



精密測定技術（機械検査編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M640	6/24(火)・25(水)	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
2M641	10/28(火)・29(水)				
対 象 者	機械加工作業における測定・検査業務の基本から応用を学びたい、学びなおしたい方				
概 要	測定作業の生産性向上を目指し、適正化に向けた測定実習を通して、精密で信頼性の高い測定を行うため、測定器の定期検査方法を含めた正しい取り扱いと、測定方法、誤差要因とその対処に必要な技能・技術を習得する。				
講習内容	1. 測定の概要 2. ノギスの使用方法 3. マイクロメータの使用方法 4. ダイヤルゲージの使用方法 5. ブロックゲージの使用方法 6. 課題実習（機械検査作業課題） 課題実習				
使用機器	各種長さ測定器				
持 参 品	筆記用具				



課題実習

精密測定技術（精度管理編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2M650	7/15(火)・16(水)	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
2M651	11/18(火)・19(水)				
対 象 者	機械加工作業における測定・検査業務の基本から応用を学びたい、学びなおしたい方				
概 要	長さ測定器を主とした測定器の精度管理方法について習得する。				
講習内容	1. 測定の概要 2. マイクロメータ類の定期検査実習 (平面度、平行度、器差の測定) 3. ノギス類の定期検査実習 (器差測定) 4. ダイヤルゲージ類の定期検査実習 使用する測定器				
使用機器	測定器具一式				
持 参 品	筆記用具				



使用する測定器

プレゼンテーションテクニック（オンライン含む）

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M610	4/15(火)・16(水) (長岡会場)	9:30～16:30	12H	10名	7,500円
対象者	プレゼンテーションの基本から応用を学びたい、学びなおしたい方				
概要	発表資料作成、プレゼンを基礎から実際に行い、自身のプレゼンも自身で見直すことから、技能及び関連知識を習得する。オンラインプレゼンテーションも行う。				
講習内容	1. プレゼンテーションとはなにか 2. プレゼンテーションの準備と実際、資料の作り方 3. 効果的話し方 4. 効果的視覚的プレゼンテーション作りの実際 5. 確認・評価 オンラインプレゼンテーション ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市) ※2日間ポリテクセンター新潟での受講となります				
使用機器	パソコン、プレゼンテーションソフト、オンライン (teams、Zoom、Meetsなど)				
持参品	筆記用具				



プレゼンテーションテクニック

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M620	3/24(火)・25(水) (長岡会場)	9:30～16:30	12H	10名	7,500円
対象者	プレゼンテーションの基本から応用を学びたい、学びなおしたい方				
概要	若手社員に対し、プレゼンテーション、コミュニケーションを通じ会社のアピール向上を目指す。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. プレゼンテーションの基本、資料の作り方 3. 説得の技術 伝え方の工夫 4. 実習演習 5. 総合演習 6. まとめ ※会場：ポリテクセンター新潟(長岡市)				
使用機器	パソコン、プレゼンテーションソフト				
持参品	筆記用具				



製造現場で活用するコーチング手法

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2M930	10/20(月)・21(火)・22(水)	9:30～16:30	18H	10名	18,500円
対象者	製造現場に従事する技能・技術者等で指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概要	部下の指導方法や育成方法など製造業に適したコーチング手法を実践的な実習を通して習得します。				
講習内容	1. 生産活動とコーチング 2. 現場指導者が目指すもの 3. 職務経験、技能習熟度、職場改善とコーチング 元 株式会社 日立産機システム中条事業所に勤務 常泉 善男 氏 ●黄綬褒章受章●ものづくり日本大賞●現代の名工				
使用機器					
持参品	筆記用具				



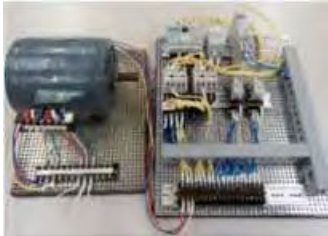
「電気系」

有接点シーケンス制御の実践技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D000	4/23(水)・24(木)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D001	9/10(水)・11(木)				
2D002	3/12(木)・13(金)				
2D003	8/20(水)・21(木) (長岡会場)				
対 象 者	制御回路等の設計・組立・配線作業に従事する方、または従事する予定の方				
概 要	自動生産システムの効率化・最適化をめざして、各種制御機器の選定方法、各種制御回路を理解し、総合実習を通して制御回路の設計・製作方法を習得します。				
講習内容	1. シーケンス制御概要 2. 制御記号と図記号 3. 配線作業について 4. タイムチャート 5. 論理回路 6. 順序回路 7. 時限回路 ※2D003は会場：ポリテクセンター新潟（長岡市住吉3丁目1番1号）となります				
使用機器	シーケンス実習装置（電気系保全実技試験学習ユニット）、テスタ、工具一式				
持 参 品	筆記用具				



シーケンス制御による電動機制御技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D010	5/22(木)・23(金)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D011	11/12(水)・13(木)				
対 象 者	シーケンス制御回路の設計・組立・配線作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、安全性向上に向けた電動機制御実習を通して、電動機制御の実務能力を習得する。				
講習内容	1. シーケンス制御の概要 2. 低圧制御盤用機器 3. 電線接続・配線について 4. 配線設計 5. 直入れ駆動回路 6. 正転逆転回路 7. Y-Δ始動回路 				
使用機器	シーケンス実習装置、テスタ、工具一式				
持 参 品	筆記用具				



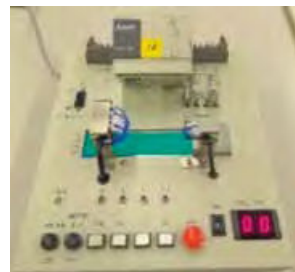
PLC制御の回路技術（Qシリーズ編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D020	5/15(木)・16(金)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D021	9/11(木)・12(金)				
対 象 者	自動化設備の設計業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざす。PLCに関する知識、回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計実習を通して、自動化システムの設計技術を習得する。				
講習内容	1. PLCとハードウェア 2. 配線設計 3. ラダー図による回路設計 4. 総合実習				
使用機器	シーケンス実習装置（シーケンス作業実技試験学習ユニット）、三菱PLC、工具一式				
持 参 品	筆記用具				

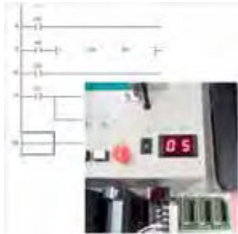


PLC制御の回路技術 (FXシリーズ編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D023	7/31(木)・8/1(金)	9:30~16:30	12H	10名	12,000円
対 象 者	自動化設備の設計業務に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)、安全性向上に向けたPLCに関する知識、回路の作成・変更法と実践的な生産設備設計実習を通して、自動化システムの設計・保守技術を習得する。				
講習内容	1. PLCのハードウェア 2. 配線設計 3. ラダー図による回路設計 4. 総合実習				
使用機器	PLC (三菱FXシリーズ) シーケンス実習装置 (電気系保全作業実技試験学習ユニット)、テスタ、工具一式				
持 参 品	筆記用具				



PLC制御の応用技術

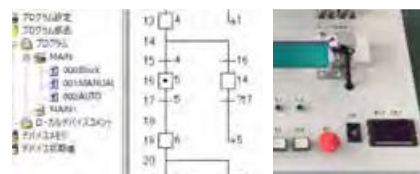
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D030	6/19(木)・20(金)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D031	11/6(木)・7(金)				
対 象 者	自動化設備の設計・保守業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス (PLC) 制御設計の生産性の向上をめざして、最適化に向けた数値処理実習を通して、PLCによる機器制御の応用技術を習得する。				
講習内容	1. 数値データの取扱い 2. 数値処理命令（転送、演算命令など） 3. 数値データの入出力処理 4. 総合課題				
使用機器	シーケンス実習装置（シーケンス作業実技試験学習ユニット）、三菱PLC、工具一式				
持 参 品	筆記用具				



PLCプログラミング技術 (SFC編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D040	8/6(水)・7(木)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D041	1/14(水)・15(木)				
2D042	12/1(月)・2(火) (長岡会場)				
対 象 者	自動化設備の設計業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざし、SFC(シーケンシャルファンクションチャート)を使用したプログラム技法による自動制御システム制作実習を通じて、制御プログラム設計の実務能力を習得する。				
講習内容	1. PLCの5つのプログラミング言語の特徴 2. 構造化の考え方 3. SFCによる回路設計 4. 総合実習(手動自動切換え、障害発生時対策) 				
	※2D042は会場:ポリテクセンター新潟(長岡市住吉3丁目1番1号)となります				
使用機器	シーケンス実習装置(シーケンス作業実技試験学習ユニット)、三菱PLC、工具一式				
持 参 品	筆記用具				

※2D042は会場: ポリテクセンター新潟 (長岡市住吉3丁目1番1号) となります



PLCによるタッチパネル活用技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D050	6/24(火)・25(水)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D051	1/27(火)・28(水)				
対 象 者	シーケンス（PLC）制御設計業務に従事している方、または今後従事する予定の方				
概 要	シーケンス（PLC）制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、最適化（改善）に向けたタッチパネル活用によるFAライン管理実習を通して、タッチパネルを活用してFAライン管理技術を習得する。				
講習内容	1. タッチパネルの概要 2. タッチパネルの画面設計 3. 表示画面とPLCプログラム 4. FAライン管理画面作成実習 5. まとめ 				
使用機器	PLC（三菱Qシリーズ）、タッチパネル（三菱GOT2000シリーズ）、電気機器組立検定対策ユニット（負荷装置）				
持 参 品	筆記用具				

PLCによる通信システム構築技術 (C#編)

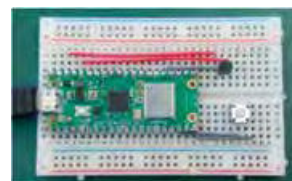
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D060	8/20(水)・21(木)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D061	11/6(木)・7(金) (長岡会場)				
対 象 者	自動化設備の設計・保守業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	シーケンス (PLC) を使う現場での生産管理技術の向上に向けたPLCとパソコンの通信およびFAネットワーク構築実習を通して、FAシステムにおけるネットワーク構築技術の実務能力を習得する。				
講習内容	1. ネットワーク通信設定 2. 通信プロトコルと通信コマンド 3. TCP/IP通信プログラム 4. 総合課題  ※2D061は会場：ポリテクセンター新潟 (長岡市住吉3丁目1番1号) となります				
使用機器	シーケンス実習装置 (電気系保全実技試験学習ユニット)、三菱PLC、工具一式				
持 参 品	筆記用具				

PLCによる位置決め制御技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D070	8/25(月)・26(火)	9:30~16:30	12H	5名	15,500円
対象者	自動化設備の設計業務の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	シーケンス(PLC)制御設計の生産性の向上をめざして、最適化(改善)、安全性向上に向けた各種パラメータの設定およびプログラミングならびに位置決め制御回路設計実習を通して、PLCによる位置決め制御を習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 位置決め制御の概要 3. 位置決め制御設計 4. プログラミング 5. 位置決め制御回路実習 6. まとめ 				
使用機器	三菱PLC、パソコン、実習装置、工具一式				
持参品	筆記用具				

無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術(MicroPython編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D080	12/18(木)・19(金)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D081	7/3(木)・4(金) (長岡会場)				
対 象 者	製造設備の設計・保守管理業務を担う技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者またはその候補者				
概 要	生産自動化設計の新たな品質及び製品の創造を目指して高付加価値化に向けた無線システム構築実習を通じて無線センサネットワーク活用技術を習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. センサネットワーク 3. 無線システム構築 4. まとめ ワンボードマイコンによる 評価用ワンボードマイコンはお持ち帰りいただけます。測定回路 ※2D081は会場：ポリテクセンター新潟（長岡市住吉3丁目1番1号）となります				
使用機器	パソコン、ワンボードマイコン（Raspberry pi Pico W）、プログラム開発環境				
持 参 品	筆記用具				



電気系保全実践技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D090	11/18(火)・19(水)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
対象者	制御回路等の設計・組立・配線作業に従事している方、または今後従事する予定の方				
概要	生産システム保全の現場力強化をめざして、技能高度化、故障対応・予防に向けたFAラインを想定した総合実習を通して、制御機器の保全技術、故障箇所の特定からその対処方法及び安全管理技術を習得する。				
講習内容	1. シーケンス制御概要 2. 制御機器に生じる不良要因 3. リレーや回路の故障原因と対策 4. 回路不良点検技術 5. 回路修復作業 6. タイムチャートの読み方 7. 動作仕様を満たすプログラミング 8. 改善指示によるプログラミング変更				
使用機器	シーケンス実習装置（電気系保全実技試験学習ユニット）、三菱PLC、工具一式				
持参品	筆記用具・普段使用しているPLCの持込可				



現場のための電気保全技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D100	6/18(水)・19(木)	9:30～16:30	12H	10名	12,000円
2D101	11/11(火)・12(水)				
対 象 者	機械・電気の保全の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	電気設備の現場作業の安全対策および機器の故障や劣化防止、測定試験、電気保全に関する技術を、実習を通して習得します。				
講習内容	1. 電気の一般知識 2. 電気災害と対応策 3. 測定機器の取扱い 4. 機器配線のトラブルと対策 5. 総合実習（回路計を使用した測定など）				
使用機器	電気系保全作業実技試験学習ユニット、検電器、テスタ、クランプメータ、絶縁抵抗計、接地抵抗計				
持 参 品	筆記用具				



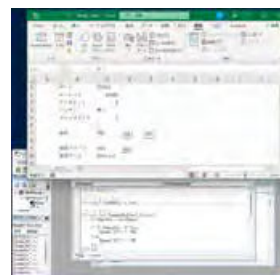
マイコン制御システム開発技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D600	7/8(火)・9(水)	9:30～16:30	12H	10名	16,500円
対 象 者	組込みシステムの設計・開発業務に従事している方または今後従事する予定のある方				
概 要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた組込みマイコンシステムの構成や開発手法の実習を通して、システムの最適化のための設計・開発技法を習得する。				
講習内容	1. マイコンの概要 2. ターゲットボードと開発ツール 3. マイコンの機能 (I/O、割り込み、タイマ等) 4. 開発技法とプログラミング 5. プログラミング応用課題 6. まとめ				
使用機器	制御用ターゲットボード、開発用パソコン、開発ツール				
持 参 品	筆記用具				



表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D702	12/25(木)・26(金)	9:30～16:30	12H	10名	7,500円
対 象 者	制御システム開発に従事する技能・技術者等であって、指導的・中核的な役割を担う者又はその候補者				
概 要	マイコン制御設計／パソコン制御設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信手順の設計やデータ収録システムの開発実習を通じて、表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. シリアル通信の概要 3. 表計算ソフトプログラミング 4. 通信処理プログラミング 5. データ収録システム開発実習 6. まとめ				
使用機器	シリアル通信機器、パソコン等				
持 参 品	筆記用具				



組込み技術者のためのプログラミング（C言語・PIC編）

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D501	5/1(木)・2(金)	9:30～16:30	12H	10名	13,000円
2D502	8/21(木)・22(金)				
対 象 者	組込みシステムの設計・開発業務に従事している方、または今後従事する予定の方				
概 要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化に向けた組込みマイコンシステムの構成や開発手法の実習を通して、システムの最適化のための設計・開発技法を習得する。				
講習内容	1. 開発環境 2. 開発技法とプログラミング 3. 汎用言語と組込み言語 4. 制御構文 5. I/O制御実習 6. 動作確認・デバッグ <pre>1 #include <stdio.h> 2 // プロトタイプ宣言 3 void fun(void); 4 // グローバル変数 5 int a = 1; 6 7 void main(void) 8 { 9 int b = 2; 10 static int c = 1; 11 12 printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c); 13 14 a++; b++; c++; // 各変数にインクリメント 15 fun(); // fun()呼び出し 16 printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c); 17 18 fun(); // fun()呼び出し 19 printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);</pre>				
使用機器	PC、統合開発環境、ターゲットボード 他				
持 参 品	筆記用具				

```

1 #include <stdio.h>
2 // プロトタイプ宣言
3 void main(void);
4 // グローバル変数
5 int a = 1;
6
7 void main(void)
8 {
9     int b = 1;
10    static int c = 1;
11
12    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);
13
14    a++; b++; c++; // 各変数インクリメント
15    func1(); // func1呼び出し
16    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);
17
18    func2(); // func2呼び出し
19    printf("main a = %d, b = %d, c = %d\n", a, b, c);

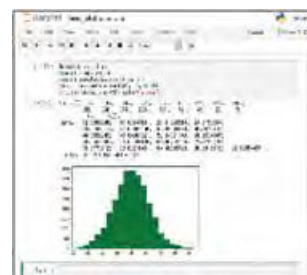
```

NEW リアルタイムOSによる組込みシステム開発技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D917	6/3(火)・4(水)	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
対象者	組込み系プログラミング関連の業務に従事する技能・技術者の方				
概要	自動化技術の改善や業務の効率化をめざして、RTOSを採用したシステム機器に必要な設計・開発技術を習得します。(FreeRTOS使用予定)				
講習内容	1. リアルタイムOSとは 2. マイコンの構成 3. タスクの生成 4. タスクの制御 5. プロセス間通信 6. 排他制御 7. イベントフラグ 8. 割り込み処理				
使用機器	マイコンボード (ルネサスエレクトロニクスRX62N)、デバッガ、パソコン				
持参品	筆記用具				



NEW 組込みOS実装技術<Linuxによる組込みシステム開発>					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D918	7/1(火)・2(水)・3(木)	9:30～16:30	18H	10名	11,500円
対象者	組込みLinuxに興味があり、業務に活用したい方				
概要	ターゲットボードへのLinux実装やアプリケーション開発実習を通して、組込みLinuxの概要、開発環境の構築や実装手法、各種機能等、組込みマイコンシステムについて習得する。				
講習内容	1. 組込みシステム概要 2. 組込みLinux開発環境構築 3. Linuxの起動 4. 組込みLinux構築 (ルートファイルシステム) 5. アプリケーション開発				
使用機器	パソコン、ターゲットマイコンボード				
持参品	筆記用具				

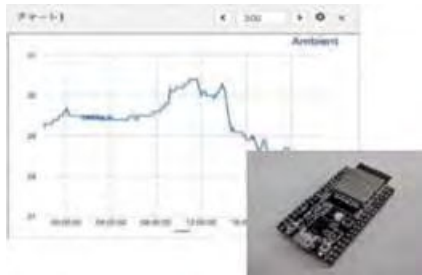
オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術 (Python言語編)					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D800	6/7(土)・14(土)	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
対象者	専門分野を問わず、Pythonによるプログラム技術を業務に活用したい方				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた組込みアプリケーション開発実習を通して、オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術を修得します。				
講習内容	1. オブジェクト指向の概念と特徴 2. Python言語文法 3. 関数,クラス,オブジェクト指向設計 4. 標準ライブラリの活用 (数値処理, グラフ化) 5. 組込みデータベースの利用				
使用機器	PC、統合開発環境				
持参品	筆記用具				



オブジェクト指向による組込みプログラミング開発技術 (Python言語編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D801	7/31(木)・8/1(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	専門分野を問わず、Pythonによるプログラム技術を業務に活用したい方				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けた組込みアプリケーション開発実習を通して、オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術を修得します。[2D800と同等コース]				
講習内容	1. オブジェクト指向の概念と特徴 2. Python言語文法 3. 関数, クラス, オブジェクト指向設計 4. 標準ライブラリの活用(数値処理, グラフ化) 5. 組込みデータベースの利用 				
使用機器	PC、統合開発環境				
持参品	筆記用具				

センサを活用したIoTアプリケーション開発技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D503	11/11(火)・12(水)	9:30~16:30	12H	10名	13,000円
対象者	センサを利用したIoTアプリケーション構築に従事している方、またはその候補者				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化(改善)に向けたセンサネットワークプログラミングやクラウドサービスを利用したプログラミング実習を通してIoTアプリケーション開発技術を習得する。				
講習内容	1. クラウド技術とIoT 2. モニタリングとは 3. センサネットワーク技術 4. センサプログラミング 5. 環境モニタリング実習 6. クラウドサービスの利用とプログラミング 				
使用機器	パソコン、プログラム開発環境、各種センサモジュール				
持参品	筆記用具				

NEW

クラウドを利用した組込みマイコン活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D919	11/18(火)・19(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	C言語の基礎を理解された方で、ESP32マイコンのプログラミングに興味があり、業務に活用したい方				
概要	組込みシステム開発・設計の生産性向上をめざして、効率化、適正化に向けた組込みプログラミング実習を通して、IoT向けの無線対応マイコン活用技術を習得する。				
講習内容	1. ESP32マイコンの特徴 2. 開発環境 3. ポート入出力 4. PWM、アナログ入力 5. シリアル通信(uart, I2C, SPI) 6. TCP/IP概要 7. Wi-Fiアクセスポイントへの接続 8. TCP/IP通信プログラム				
使用機器	パソコン、ターゲットマイコンボード(ESP32)				
持参品	筆記用具				

NEW クラウド活用によるIoTシステム構築技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D920	12/2(火)・3(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	IoTシステムの構築について知り業務に活用したい方				
概要	IoTに対応した無線マイコンモジュールを使用し、Webを利用したデータ収集・データ処理実習を通して、IoTシステム構築のノウハウについて習得します。				
講習内容	1. 概要 2. センサデータの収集と解析 3. データ収集実習 4. ネットワーク活用 5. データ処理実習 6. まとめ				
使用機器	パソコン、ターゲットマイコンボード				
持参品	筆記用具				

実習で学ぶ画像処理・認識技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D700	8/21(木)・22(金)	9:30~16:30	12H	10名	7,500円
対象者	画像処理・認識技術関連業務に従事する技能・技術者等				
概要	画像処理／信号処理設計の新たな品質及び製品の創造をめざして高付加価値化に向けた画像処理・認識プログラミング実習を通して、画像処理・認識技術について習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. 画像処理システムの知識 3. デジタル画像処理の知識 4. 2値画像処理 5. 画像認識技術 6. まとめ				
使用機器	パソコン				
持参品	書籍「デジタル画像処理改訂第二版」画像情報教育振興協会（予定）、筆記具				

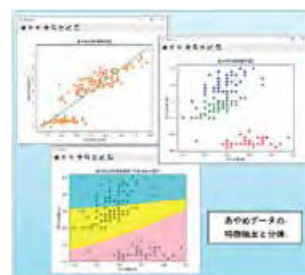


ディープラーニングシステム開発技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D802	8/7(木)・8(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	専門分野を問わず、ディープラーニングによる画像処理を業務に活用したい方				
概要	画像処理の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたディープラーニングフレームワークによるディープラーニングシステム開発実習を通して、AIによる画像分類技術を修得します。				
講習内容	1. ディープラーニング概要 2. 畳み込みニューラルネットワーク（CNN）概要 3. Python言語概要 4. 画像データセット（MNIST,CIFER10など）を用いたCNNの実装 5. 分類精度向上のための手法 6. 独自データセットによる画像分類CNN設計				
使用機器	PC、統合開発環境、ディープラーニングフレームワーク				
持参品	筆記用具				



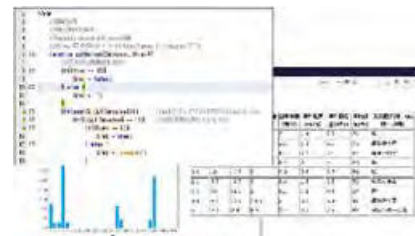
オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能(AI)活用技術

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D803	12/13(土)・20(土)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	専門分野を問わず、今後の技術力の基盤としてAI技術を業務に活用したい方				
概要	画像処理／信号処理設計を活用した生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた畳み込みニューラルネットワーク実習を通して、AI活用技術を習得する。				
講習内容	1. 機械学習概要 2. 分類問題、画像処理・認識 3. Python概要 4. ディープラーニングフレームワーク 5. 畳み込みニューラルネットワーク (CNN) 6. 再帰型ニューラルネットワークの概要 (RNN) 7. その他 (Transformer, Attention概要)				
使用機器	PC、統合開発環境、ディープラーニングフレームワーク				
持参品	筆記用具				



Webを活用した生産支援システム構築技術(サーバサイドPHP編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2D601	7/15(火)・16(水)	9:30～16:30	12H	10名	8,500円
2D602	9/9(火)・10(水)				
対 象 者	製造現場や各種業務等の情報をWebを利用して管理・公開する業務に従事する方				
概 要	インターネットを利用した業務システムなどを構築する場合に広く利用されているPHP言語について、基本的な開発技術からデータベースを用いた実践的な開発技術まで実習を通して習得します。				
講習内容	1. Webアプリケーションの概要 2. 開発環境の紹介 3. PHPによるプログラム開発 4. セッション管理 5. PHPとMySQLの連携システム開発（PDO） 				
使用機器	PC、統合開発環境、Webサーバ、データベース他				
持 参 品	筆記用具				



Webを活用した生産支援システム構築技術 (ASP. Net編)

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D603	9/2(火)・3(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
対象者	製造現場や各種業務等の情報をWebを利用して管理・公開する業務に従事する方				
概要	インターネットを利用した業務システムなどを構築する場合に広く利用されているPHP言語について、基本的な開発技術からデータベースを用いた実践的な開発技術まで実習を通して習得します。				
講習内容	1. Webアプリケーションの概要 2. C#言語のプログラミング手法 3. Webフォームのプログラミング 4. ASP.Net MVCのプログラミング 5. セッション管理 6. データベースとの連携				
使用機器	PC、統合開発環境、Webサーバ、データベース他				
持参品	筆記用具				



NEW 有線・無線通信プロトコルの解析・評価手法					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D703	3/23(月)・24(火)	9:30～16:30	12H	10名	7,500円
対象者	有線・無線システムの設計・開発技術に従事する技能・技術者等であって、指導的、中核的な役割を担う者又はその候補者				
概要	交換系設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けた通信規格の定義方法や各種通信方式の評価実習を通して、通信プロトコルの解析・評価手法を習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. ネットワーク概要 3. EthernetとIEEE802.3規格 4. 無線通信プロトコル 5. TCP/IPプロトコルの構成 6. まとめ				
使用機器	LANアナライザ（フリーソフトウェア）、パソコン等				
持参品	テキスト（未定）、筆記具				

製造現場におけるLAN活用技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D701	10/2(木)・3(金)	9:30～16:30	12H	10名	7,500円
対象者	製造現場のシステム管理業務に従事する技能・技術者等				
概要	通信システム設計の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）に向けたLANのプロトコルに関する知識やLAN機器の使用法を通じ、LAN活用に関する技能を習得する。				
講習内容	1. コース概要及び留意事項 2. ネットワーク概要 3. プロトコル概要と設定 4. ネットワーク機器の役割と設定 5. 障害検知 6. LAN構築実習 7. まとめ				
使用機器	ネットワーク機器、パソコン等				
持参品	書籍「マスタリングTCP/IP入門編 第6版」井上直也他・オーム社（予定）、筆記具				

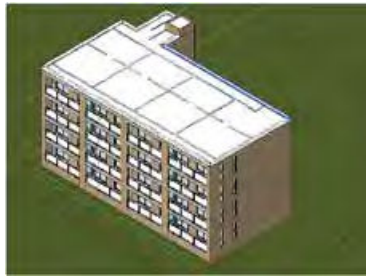


基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術					
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2D504	3/17(火)・18(水)	9:30～16:30	12H	10名	13,000円
対象者	電子機器のはんだ付け作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	デバイス・基板製造／実装組立の生産性の向上をめざして、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた科学的知識に基づく鉛フリーはんだ付け実習を通して、鉛フリーはんだ付け作業の実践技術・管理技術を習得する。				
講習内容	1. 鉛フリー化 2. 手はんだ付けの科学的知識 3. 鉛フリー手はんだ付けの課題 4. 鉛フリー手はんだ作業のポイント 5. 鉛フリー手はんだ付け実習 6. まとめ				
使用機器	温度コントローラ付はんだこて、実習用基板・部品等、工具一式、その他				
持参品	筆記用具				



「居住系」

BIMを用いた建築設計技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H010	8/1(金)・8(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対 象 者	設計業務にBIMの活用をお考えの方				
概 要	BIM (Building Information Modeling) のメジャーソフトであるAutodesk Revitの基本操作を習得します。課題作成を通してBIMのプロセスを理解します。				
講習内容	1. BIM の知識、Revitの特徴 2. BIM ソフトの操作方法 3. モデリング 4. プレゼンテーション 5. シート作成  				
使用機器	PC (Revit)				
持 参 品	筆記用具				

住宅計画実践技術

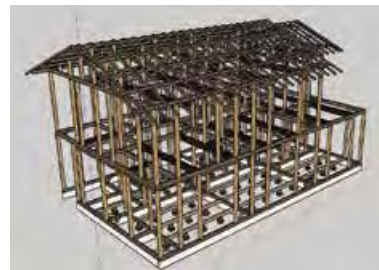
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H020	4/18(金)・25(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対 象 者	住宅計画に関わる仕事をしている方、または今後従事する予定のある方				
概 要	実践的な木造住宅計画設計の一連のプロセスを通して、住宅設計演習を通して設計した住宅を、3D図面を活用したプレゼンテーション資料で誰にでもわかりやすく提案できるようになることを目指します。				
講習内容	1. コース概要・設計の進め方、設計準備 2. 設計初期の全体計画、意匠設計 3. 構造（安全性）・環境（快適性） 4. プレゼンテーション 				
使用機器	PC				
持 参 品	筆記用具、電卓				

実践建築設計 3次元CAD技術(マイホームデザイナーモデリング編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H030	7/8(火)・15(火)	9:30～16:30	12H	10名	8,500円
2H031	12/4(木)・11(木)				
対 象 者	設計業務に3次元CADの活用をお考えの方				
概 要	住宅モデルの作成を通して3Dマイホームデザイナーの基本操作を習得し、3次元設計ツールとしての応用操作など、活用方法を習得します。				
講習内容	基本的な操作説明から行うので、3Dマイホームデザイナーに全く触れたことがない方でも安心して受講できます。 1. 3Dマイホームデザイナーの操作概要 2. 平面計画 3. 3Dモデリング 				
使用機器	PC (3Dマイホームデザイナー)				
持 参 品	筆記用具				

NEW**実践建築設計 3次元CAD技術 (SketchUp編)**

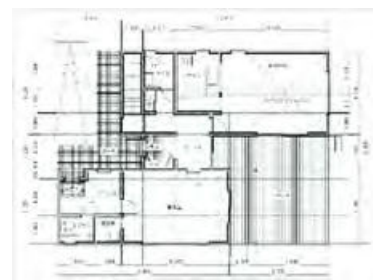
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H040	7/30(水)・8/6(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,500円
対 象 者	設計業務に3次元CADの活用をお考えの方				
概 要	木造住宅の軸組の作成を通して SketchUp の基本操作を習得し、3次元設計ツールとしての応用操作など、活用方法を習得します。				
講習内容	1. コース概要・課題の説明 2. SketchUpの基本操作 3. 木造住宅の軸組の作成 4. 2DCADとの連携				
使用機器	PC (SketchUp)				
持 参 品	筆記用具				

**実践建築設計 2次元CAD技術 (jw_cad編)**

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H050	5/13(火)・20(火)	9:30～16:30	12H	10名	8,000円
2H051	10/23(木)・30(木)				
対 象 者	建築図面の作成・編集に Jw_CAD を活用する方				
概 要	Jw_CADの基本操作（コマンド）・各種設定について、図面の作成演習を通して、建築図面の作成・編集に活用できる手法習得を目指します。				
講習内容	基本的な操作説明から行うので、Jw_CADに全く触れたことがない方でも安心して受講できます。 1. Jw_CADの操作概要（画面操作、基本設定） 2. 各種コマンド 3. 図面作成演習				
使用機器	PC（CAD等の簡単な操作があります）				
持 参 品	筆記用具、電卓				

**実践建築設計 2次元CAD技術 (AutoCAD編)**

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H060	5/23(金)・30(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対 象 者	建築図面の作成・編集に AutoCAD を活用する方				
概 要	AutoCADのコマンド操作・各種設定について、図面の作成演習を通して、建築図面の作成・編集に活用する手法を習得します。				
講習内容	AutoCADは自由度やカスタマイズ性が高い反面、設定の方法などハードルが高く感じます。 このコースでは作図操作だけではなく基本的な設定についても解説します。 1. AutoCADの操作概要 2. 各種コマンド 3. 図面作成演習				
使用機器	PC (CAD等の簡単な操作があります)				
持 参 品	筆記用具、電卓				



ARを活用した建築プレゼンテーション技法

コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H070	8/21(木)・22(金)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	総合建設業の作業に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概要	業務用AR/MR システム「GyroEye (ジャイロアイ)」を使い、AR・MR の基本から現場で使える実務レベルの技術までを習得して頂きます。				
講習内容	1. AR・MR 概要、活用事例 2. 素材 (BIM/CIM) データの作成・準備 3. AR・MR ビューワ基本操作 4. AR/MR 実習、建築構造物編、設備施工編、土木構造物編 5. まとめ、質疑応答 <u>※CPD認定セミナーとして実施予定 (CPD 12単位)</u>				
使用機器	GyroEye (ジャイロアイ)				
持参品	筆記用具				



実践建築設計3次元CAD技術(設計図面とプレゼンテーション) (ARCHITREND ZERO編)

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H080	5/28(水)・29(木)	9:30～16:30	12H	10名	9,500円
2H081	6/18(水)・19(木)				
対 象 者	ARCHITRENDZEROを活用した業務に従事している方、今後従事する予定のある方				
概 要	専門CADソフトを使用した建物のプラン作成、ニーズに基づくパースの作成、プレゼン手法を習得します。				
講習内容	1. コース概要・課題の説明 2. 配置図・平面図等のプランニング 3. 3D 住宅作成の流れ（柱・壁・梁・床・天井） 4. 各図面の作成とパース、プレゼンボード作成 3D導入後作業に不安をお持ちの方は是非ご参加ください。 				
使用機器	PC (ARCHITREND ZERO)				
持 参 品	筆記用具				

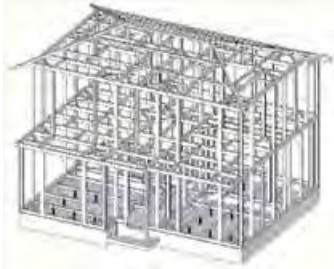


地理情報システムの運用技術

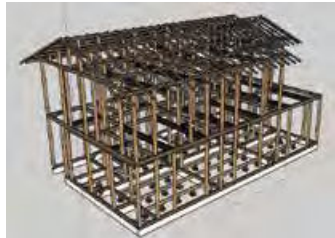
コース番号	実施日	時間	訓練時間	定員	受講料
2H090	9/30(火)・10/1(水)	9:30~16:30	12H	10名	8,000円
対象者	地理情報システム (GIS) 関連業務に従事している方、今後従事する予定のある方				
概要	地理情報システム (GIS) を題材に「GISとは」から「GIS利活用法」まで、GISソフトを操作体験しながら実務レベルでの運用技術を習得します。				
講習内容	1. GIS概要 2. 基本操作演習、実践操作演習 3. 応用操作 <u>※CPD認定セミナーとして実施予定 (CPD 12単位)</u>				
使用機器	工具一式				
持参品	筆記用具				



木造住宅における壁量計算技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H100	1/7(水)・14(水)	9:30～16:30	12H	10名	8,500円
対 象 者	木造住宅を計画する仕事に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	木造住宅の壁量計算実習を通して、構造的にバランスの良い住宅を提案し、お客様にもわかりやすく木造住宅の安全性を説明できるようになることを目指します。				
講習内容	1. 木造住宅の現状 2. 4号特例の廃止と対応について 3. 構造計画と壁量、直下率の演習 4. 壁量計算・四分割法・N値計算 5. 特殊な形態への対応 				
使用機器					
持 参 品	筆記用具、電卓				

木造住宅の架構設計技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H110	5/22(木)・29(木)	9:30～16:30	12H	10名	8,500円
2H111	11/7(金)・14(金)				
対 象 者	木造建築の設計・施工に従事している方				
概 要	木造住宅における構造安定性を確保した構造計画（架構設計）及び構造伏図作成に必要な知識・技術を習得します。				
講習内容	1. 木造建築における構造計画の概要 2. 直下率の計算 3. 架構設計の手法 4. 伏図作成演習 5. 事故事例における直下率 				
使用機器					
持 参 品	筆記用具、電卓				

木造住宅における許容応力度設計技術

コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H120	8/30(土)・9/6(土)	9:30～16:30	12H	10名	11,000円
対 象 者	木造建築の設計・施工に従事している方、または今後従事する予定のある方				
概 要	木造在来構法の構造設計における安全性向上をめざして、許容応力度計算法に基づいた設計実習を通して、計算方法を理解し理論的な根拠・ポイントを習得します。				
講習内容	1. 構造計画の概要 2. 荷重・外力の算定 3. 鉛直構面（耐力壁）の設計実習 4. 水平構面（床倍率）の設計実習 5. 部材の設計実習 				
使用機器	PC (excelの操作)				
持 参 品	筆記用具、電卓				

NEW

住宅建築測量技術					
コース番号	実 施 日	時 間	訓練時間	定 員	受講料
2H140	4/21(月)・28(月)	9:30～16:30	12H	10名	10,500円
2H141	9/4(木)・11(木)				
対 象 者	測量関連業務に従事している方、今後従事する予定のある方				
概 要	オートレベル・セオドライトを用いた測量実習を通して、測量技術の実践的技術・技能を習得します。				
講習内容	1. 建築測量の概要 2. オートレベル、セオドライトの使用方法 3. 建築丁張の設置 4. その他の測量機器の紹介 				
使用機器	オートレベル、セオドライト等				
持 参 品	筆記用具、電卓、作業着				

◎ オーダーメイドセミナーのご案内

講習を受けたいが、
掲載されている
コースは日程が
合わない。

自社では、担当者
や機器・場所が不足
しているのでOJT
研修ができない。

自社の
実情や目的に
合った研修を
実施したい。

将来の技術革新に
備えて体系的に
技術習得を
させたい！

上記のような課題を抱えている、企業・事業主団体の皆様を支援します。
お気軽に学務援助課 TEL (0254-22-1781) までお問い合わせください

オーダーメイドセミナー計画のポイント

- ① この「能力開発セミナーコースガイド」に掲載しているコースは、全てオーダーメイドセミナーとして計画できます。（ご案内に紹介されていないコースについても、ご相談に応じます。）
- ② 会場は原則的に当校実施となりますが、出張セミナーにも対応可能です。
- ③ 定員は（原則）10名ですが、講習内容等により5名以上より実施可能です。（協力会社、系列会社等の合同実施でも可能です。）
- ④ 実施日・時間帯等はお相談下さい。
- ⑤ お一人の受講料は、教材及び当機構が定める諸経費を含めてご提示します。
* ご相談の内容・日程等により、実施できない場合がございますので予めご承知ください。

ご相談から実施までの流れ

ご相談対応（内容・日程・受講者数など）



実施内容のご提案 受講料の見積額の提示



実施内容・受講料の確認



受講料の請求と納入



セミナーの実施

能力開発セミナーを 受講された方々の **声** をご紹介します!

受講者の声



令和5年度
満足度

99.7%

無線センサネットワーク活用 による製造現場監視技術

「ネットワークによる監視」は
今後客先から求められる可能性
があるため。

生産プロセス 改善のための統計解析

実際にデータを収集して、そのデータ
を整理することがあるので、とても
参考になりました。あと、エクセル
の関数に知らなかったものがあつた
ので、大変勉強になりました。

実践建築設計3次元CAD技術 (マイホームデザイナーモデリング編)

VRを使用することにより、より
分かりやすく、お客様に説明
できるようになると感じました。

木造住宅における 耐震診断技術

最新の耐震診断について学ぶ
ことができた。
(ソフトも含む)

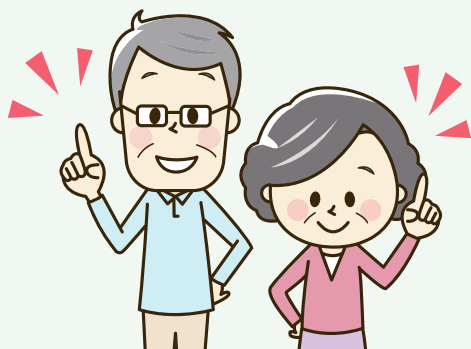
切削加工の理論と実際

現場での教育しか受けていなか
ったため、理論的知識として今
回学べたから。大変わかりやすい
授業だった。実加工も交えたこと
でさらにわかりやすかった。

3Dプリンタを用いた 製品試作における造形技術

3Dプリンターについて知っ
ていたが、特に光造形につい
ては全く知らなかったため、
とても勉強になった。

事業主の声



令和5年度
満足度

94.3%

現場のための 電気保全技術

シーケンス制御での不具合調
査方法を学び、現場で活用で
きる。

PLCによる FAネットワーク構築技術

PLCプログラムを組む作業
が増えていく現状で、技術力
をつけるため。

金型の鏡面みがき技法 (金型みがき一般から鏡面まで)

金型の磨き工程において、機
器と手作業の使い分けによ
り、効率が改善した。

切削加工の理論と実際

加工条件の設定・製品の仕上
がり等問題点の見当に役立っ
た。

NC旋盤加工技術

プログラムの理解が深まり、
仕事に対する姿勢が変わっ
た。

ARを活用した建築 プレゼンテーション技法

作業手順をAR化できると、
誤操作や忘れによるトラブル
を防げる。

● 施設利用のご案内

事業主等の皆様が行う教育訓練等に対し、教室・実習場等の施設設備や機器等の貸与を行っています。

利用について

- 1 当校で実施する能力開発業務等に支障のない範囲で貸与いたします。
- 2 営利目的または政治、宗教活動及び公序良俗に反すると認められるものは貸与できません。
- 3 その他、貸与に関して、当校の施設等貸与規定により一部制限がありますので詳細については事前にご確認ください。
- 4 施設貸与については、別途施設管理費等がかかります。
- 5 施設設備を毀損、焼失等した場合は、その損害を賠償していただきます。
- 6 下表の施設設備一覧は一部です。これ以外の施設設備の詳細についてはお問い合わせください。また、使用料金が変わる場合があります。

施設設備一覧

施設貸出・利用料

事業主団体並びに団体傘下企業で従業員に対し、教育訓練を実施する場合に、施設機器等をご利用いただけるよう教育施設の貸与を行っています。

教室・実習場名	定員(名)	空調設備	通常期 1時間あたり	空調使用時 1時間あたり
多目的ホール	248	有	1,000円	1,100円
会議室	32	有	200円	300円
普通教室	20	有	200円	300円
パソコン教室	20	有	200円	300円
NC実習室	5	有	300円	400円
木材加工実習室	10	有	300円	400円
精密測定室	10	有	300円	400円

科 名	生産技術科
機 器 名	3DCAD(CATIA)
メーカー名	ダッソーシステム



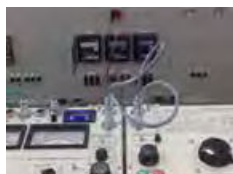
仕様
CATIA(R) Version5-6
機械系3DCADシステムです。

科 名	生産技術科
機 器 名	3次元プリンター
メーカー名	Stratasys



仕様
最大造形寸法:
294mm×192mm×148.6mm(カタログ値)
積層厚: 28μm(カタログ値)
成形可能樹脂: 耐熱樹脂、硬質樹脂、ポリプロピレン相当
CADデータ互換: STL

科 名	電気エネルギー制御科
機 器 名	リレー(継電器)試験器
メーカー名	(株)ムサシインテック



仕様
使用電源: AC100V 50/60Hz 1φ
継電器使用時2kVA(MAX)
保護継電器試験用のマルチリレーテストです。

科 名	電気エネルギー制御科
機 器 名	空気圧実習装置
メーカー名	当校オリジナル



仕様
構成機器: 各種空気圧シリンダ 電磁弁 等
空気圧実習をする際に使用する当校オリジナル実習機器です。

科 名	電子情報技術科
機 器 名	信号源装置各種
メーカー名	Agilent 他



仕様
RF信号発生器 N9310A(周波数9kHz~3GHz、分解能0.1Hz、出力-127~-13dBm) ファンクションジェネレータ SG-4222(2ch、最大出力20Vp-p、7桁 200MHz) 直流安定化電源 E3631A(出力定格 出力1: 0~6 V、0~5 A 出力2: 0~+25 V、0~1 A 出力3: 0~25 V、0~1 A)

科 名	電子情報技術科
機 器 名	測定装置各種
メーカー名	Agilent 他



仕様
スペクトラムアナライザー N9320A(周波数9kHz~3GHz、最大帯域幅1MHz、DANL-145dBm) ミキサシグナルオスコープ MSO6104A(帯域1GHz、4ch、デジタル16bitサンプリングレート4GSa/s) オシロスコープ TDS3024B(帯域200MHz、4ch、サンプリングレート2.5GSa/s) マルチメータ 34401A(16桁分解能、測定機能: DC/AC電圧、DC/AC電流、2端子/4端子抵抗、ダイオード、導通、周波数、周波) LCRメータ 4263A(周波数100~100kHz、測定/パラメータ: R、X、Y、G、B、L、C、D、Q、φ表示/4桁)

科 名	住居環境科
機 器 名	振動試験装置
メーカー名	(株)サンエス



仕様
水平振動台
(外形寸法: 1700(W)×1000(D)×200(H))
振動加振器・起振器(最大加振力: 50kgf)
リアルタイム振動解析システム・振動制御システム
サーボ型加速度検出器

科 名	住居環境科
機 器 名	万能試験機
メーカー名	(株)東京試験機製作所



仕様
引張、圧縮 500kN

◎ 講師派遣のご案内

事業主の皆様が自ら行う社員教育や研修に対して、講師の派遣を行っています。

利用要件

- 1 講師派遣費は講師 1 人 1 時間当たり5,000円 (税込) です。
- 2 当校の施設、設備を使用して実施する場合は施設貸出・利用料、また、事業所へ出向いて実施する場合は交通費等の実費がかかります。
- 3 教材、消耗機材等の経費は事業主負担となります。

機械系コース

機械製図・CAD分野

- ・ 機械製図
- ・ 2次元CAD
- ・ 3次元CAD

工作機械分野

- ・ 汎用機械加工
- ・ NC機械加工
- ・ CAD/CAM

電気系コース

制御技術分野

- ・ 電気設備
- ・ シーケンス制御
- ・ PLC制御
- ・ メカトロニクス
- ・ 電気工学
- ・ コンピュータ工学

電子・情報系コース

電子回路分野

- ・ アナログ回路
- ・ デジタル回路

情報処理分野

- ・ コンピュータ制御
- ・ プログラミング
- ・ 人工知能などのコンピュータ制御
- 情報処理技術
- 情報リテラシ

ネットワーク分野

- ・ インターネットなどの通信関連

居住系コース

建築計画分野

- ・ 建築計画
- ・ 建築設計
- ・ CAD／CG
- ・ インテリア

建築構造設計分野

- ・ 建築構造
- ・ 木質構造

建築施工分野

- ・ 建築施工（木質系施工）

◎ 生産性向上支援訓練のご案内

生産管理、IoT・クラウド活用、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムにより、70歳までの就業機会の確保に向けた中高年齢層の従業員の育成や、DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進に資する人材の育成を支援するなど、中小企業等が生産性を向上させるために必要な知識・スキルを習得するための訓練です。

個別企業の課題に合わせてカリキュラムをカスタマイズする訓練コースや、地域のニーズを踏まえた訓練コースを設定し、専門的知見を有する民間機関等に委託して実施します。

(1)訓練実施場所 **企業の自社会議室 など**

(2)訓練時間数 **6時間～30時間** (IT業務改善は、4時間～30時間)

(3)受講料 (1人あたり・税込) **3,300円～6,600円** (IT業務改善は、2,200円～4,400円)

(4)主な訓練分野・コース

生産・業務プロセスの改善

工程管理のポイントや見直し及び改善を行う際の課題とその解決方法など、生産管理や生産現場の業務プロセスの改善に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

横断的課題

既存の業務の効率化や業務の改善、あるいは70歳以上の就業機会の確保に向けて中高年齢者の役割の変化への対応やノウハウ継承に必要な知識や手法の習得を主な目的としています。

売上げ増加

マーケティングや広報戦略、新商品の企画・開発やサービスの高付加価値化を実現するために必要となる知識や手法の取得を主な目的としています。

IT業務改善

生産性を向上させるための手段としてITを活用する上で必要となるネットワーク、データ活用、情報発信、情報倫理・セキュリティに関する知識・手法の習得を主な目的としています。

- ・現場の課題を発見し、改善する方法を学びたい。
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の新技术を活用したい。
- ・AI（人工知能）を学びたい。

- ・従業員の仕事の効率化を促進したい。
- ・リスクを低減させる方法を学びたい。
- ・ベテラン従業員の技術を後輩に継承させたい。

- ・顧客満足度の向上を図りたい。
- ・消費者の動向を営業に活用したい。
- ・インターネットを活用して販売促進を図りたい。

- ・データ集計の作業を効率化したい。
- ・マクロを使って定型業務を自動化したい
- ・集客につながるHPを作成したい

【生産・業務プロセスの改善】

- ・生産現場の問題解決
- ・AI（人工知能）活用
- ・DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進 など

【横断的課題】

- ・組織力強化のための管理
- ・後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
- ・効果的なOJTを実施するための指導法 など

【売上げ増加】

- ・マーケティング志向の営業活動の分析と改善
- ・提案型営業実践
- ・オンライン営業技術 など

【IT業務改善】

- ・表計算ソフトのマクロによる定型業務の自動化
- ・集客につなげるホームページ作成
- ・データベースを活用したデータ処理 など

「まずは試しに1～2名の従業員に訓練を受けさせたい」といった場合には…

広く受講者を募集して実施する公開型の訓練（オープンコース）も実施しています。

他社の従業員と一緒にグループワークなどを行うことで、自社の強みや課題の気づきにつながります。

DX人材育成の支援

生産性センターでは、「中小企業等DX人材育成支援コーナー」を設置し、企業の皆様からの「デジタル対応に係る人材育成の悩み」に関するご相談を受け付けています。また、在職者訓練・生産性向上支援訓練ではDXに対応した訓練コースを整備し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。

人材開発支援助成金を利用できます

訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等の助成を受けることができます。助成金の利用にあたっては、一定の条件がありますので、詳しくは各都道府県の労働局にお問い合わせいただくか、厚生労働省ホームページをご確認ください。

eラーニング形式もあります

人気のある「業務効率向上のための時間管理」「成果を上げる業務改善」「職場のリーダーに求められる統率力の向上」の3コースは、まとめて2か月間920円/人の定額制（サブスクリプション型）eラーニングでも受講いただけます。要件を満たせば人材開発支援助成金をご利用いただけます。

お問合せ

生産性向上人材育成支援センター

- ポリテクセンター新潟（長岡市） TEL:0258-33-2455 FAX:0258-33-2422
- ポリテクカレッジ新潟（新発田市） TEL:0254-22-1781 FAX:0254-23-2169

さらなるスキルアップを目指すなら！



高度 ポリテクセンター

高度ポリテクセンターとはものづくり分野で働く方の成長をサポートする機関です。

年間 約700コースの豊富なカリキュラム
経験豊富な講師陣による実践的な研修内容
ぜひ社員教育の一環としてご利用ください！



18の技術分野

切削・研削加工
塑性加工・金型
射出成形・金型・溶接
測定・検査・計測
材料・表面处理・機械保全

現場運営・改善
環境・安全
機械設計
自動化

電気設備・自動制御
パワーエレクトロニクス
電子回路・画像・信号処理
組込み・ICT
通信システム



人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは
当センターのコースガイドをご覧ください。

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- AI・画像処理技術＜集中育成コース＞
- データサイエンス技術＜集中育成コース＞



お問合せ先

高度ポリテクセンター

TEL: 043-296-2582 (事業課)

〒261-0014

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-Mail: kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X
(旧Twitter)



YouTube

◎ 北陸ブロック 能力開発セミナー一覧

北陸ブロックの9つの訓練施設で実施しているセミナーをご紹介します。
※各セミナーの詳細については、直接実施施設にお問い合わせください。

【機 械 系】

分 類	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 長野	ポリテク 松本	ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井
材料特性/ 材料評価	A101-004-A	金属材料の理論と実際				○					
機械設計	A201-005-A	機械装置の安全設計のポイント					○				○
	A202-003-A	機械設計のための総合力学	○		○	○		○		○	○
	A202-013-A	3次元CADを活用したアセンブリ技術	○	○	○		○		○		
	A202-020-A	最大実体公差方式の解釈と活用演習	○	○							
	A202-021-A	2次元CADによる機械設計技術		○						○	
	A202-022-A A202-022-B	2次元CADによる機械製図技術	○		○	○	○	○	○	○	○
	A202-023-A	実践機械製図	○		○	○	○		○	○	
	A202-024-A	切削加工を考慮した機械設計製図		○		○					
	A202-028-A	幾何公差の解釈と活用演習	○	○		○					
	A202-036-A	3次元CADを活用したソリッドモデリング技術	○	○		○	○				
	A202-037-A	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術		○	○					○	○
	A202-Z01-A	3次元CADを活用した図面化技術					○				
	A202-Z01-A	プロダクトデザインのためのスケッチ製図技術								○	
	A202-Z01-A	各種加工方法を考慮した設計技術(切削加工、特殊加工、板金、溶接編)		○							
	A205-037-A	設計者CAEを活用した機構解析					○				
	A205-041-B	設計者CAEを活用した流体・熱流体解析					○				
	A205-042-A	専任者CAEを活用した構造解析					○				
	A205-043-A	CAEにおける非線形解析を活用した構造解析技術					○				
制御 システム設計	A405-016-A	人協働ロボット活用技術						○			
	A406-001-A	油圧実践技術					○				
	A406-002-A	油圧システム回路							○		
	A406-007-A	空気圧システム制御の実務							○		
	A406-008-A	空気圧実践技術		○	○	○		○			○
機械加工	B101-002-A	フライス加工の理論と実際			○						
	B101-003-A	切削加工の理論と実際	○			○				○	
	B101-008-A	旋盤加工応用技術			○				○		○
	B101-009-A B101-A09-B	旋盤加工技術	○	○	○		○	○	○		○
	B101-014-A B101-A14-B	フライス盤加工技術	○	○	○	○	○	○			○
	B101-A15-A	フライス盤加工応用技術							○		○
	B102-008-B	NC旋盤プログラミング技術		○	○	○	○	○		○	○
	B102-009-A B102-009-B	NC旋盤加工技術				○	○				○
	B102-010-A	カスタムマクロによるNCプログラミング技術									○
	B102-011-A B102-011-B	マシニングセンタプログラミング技術		○	○	○	○	○		○	○
	B102-012-B	マシニングセンタ加工技術				○	○	○			○
	B102-014-A	CAM技術				○	○				
	B102-016-A	5軸制御マシニングセンタ加工技術					○				
	B105-001-A	機械組立仕上げのテクニック				○			○		
	B106-001-A	工具研削実践技術							○		
金属加工/ 成形加工	B202-001-A	被覆アーク溶接技能クリニック		○			○				
	B202-003-A	半自動アーク溶接技能クリニック			○		○		○		
	B202-007-A	ステンレス鋼のTIG溶接技能クリニック		○	○		○		○		
	B202-008-A	パルスTIG溶接実践技術		○							
	B202-009-A	アルミニウム合金のTIG溶接技能クリニック		○	○		○				
	B202-016-A	各種の溶接施工技術(アルミニウム編)					○				
	B202-025-A	金型の補修溶接技術				○					
	B202-022-A	設計・施工管理に活かす溶接技術			○				○		
	B202-031-A	ARシステムを用いた半自動アーク溶接の技能伝承		○							
	B204-018-A	プレス加工技術						○			
	B205-013-A	金型の鏡面みがき技法				○					
	B206-001-A	鉄鋼材料の熱処理技術				○					
測定・検査	D101-001-A D101-001-B	精密測定技術	○	○	○	○	○		○	○	○
	D101-A01-A	精密測定技術(技能エキスパート編)		○							
	D101-002-A	計測における信頼性(不確かさ)の評価技術			○	○					

【機 械 系】

分 類	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 長野	ポリテク 松本	ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井
測定・検査	D101-005-A	三次元測定技術					○		○		
	D101-008-A	精密形状測定技術					○	○			
	D106-Z01-A	CATを活用した三次元測定技術					○				
生産設備保全	X101-001-A X101-001-B	生産現場の機械保全技術	○		○	○					
	X101-003-B	伝動装置の機械保全技術							○		
	X102-007-A	油圧システムの保全技術							○		
工場管理	X301-002-A	製造業における実践的生産管理					○	○			
	X301-005-A	生産性向上を目指した生産管理手法			○						
	X301-006-A	製造現場改善のIE活用技術							○		
	X301-024-A	標準作業手順書の作り方と効果的な現場運用管理	○						○		
	X302-001-A	生産設備のムダ取り改善									○
	X302-002-A	実践生産性改善									○
	X302-003-A	生産活動における課題解決の進め方	○								
	X302-006-A	標準時間の設定と活用	○								
	X302-010-A	生産現場改善手法		○	○						
	X302-016-A	なぜなぜ分析による真の要因追求と現場改善			○						
	X303-004-A	測定の高精度化における品質管理の活用					○				
	X303-005-A	生産現場に活かす品質管理技法		○		○	○	○			
	X303-006-A	製造業に活かす品質管理技法	○								
	X303-010-A	新QC7つ道具活用による製造現場における品質改善・品質保証						○			○
	X305-004-A	原価管理から見た生産性向上	○		○						○
	X305-A10-A	生産現場で使える原価管理		○							
教育訓練	Z101-002-A	仕事と人を動かす現場監督者の養成			○						
	Z101-004-A	現場を動かすプレゼンテーションテクニック				○					
	Z103-002-A	製造現場で活用するコーチング手法	○		○	○					
	Z103-003-A	生産現場で活用するリーダーシップ手法		○							
	Z103-004-A	5Sによるムダ取り・改善の進め方	○	○	○				○		
安全衛生	Z201-004-A	ヒューマンエラー防止実践手法	○		○						

【電気・電子系】

分 類 (中分類)	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 長野	ポリテク 松本	ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井
電子回路設計	A301-004-A	トランジスタ回路の設計・評価技術							○		
	A301-005-A	トランジスタ回路の設計と評価の実践技術								○	
	A301-008-A	オペアンプ回路の設計・評価技術						○	○	○	
	A303-009-A	プリント基板設計技術						○			
制御 システム設計	A401-002-A	シーケンス制御による電動機制御技術	○	○	○	○	○	○	○		○
	A401-005-A	PLCプログラミング技術		○	○	○		○			○
	A401-006-A	PLC制御の回路技術	○		○	○	○	○	○	○	○
	A401-007-A	PLC制御の応用技術	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	A401-008-A	PLCによる自動化制御技術							○		
	A401-010-A	PLCによるインバータ制御技術						○	○		
	A401-012-A	PLCによる位置決め制御技術				○		○	○		○
	A401-013-A	PLCによるFAセンサ活用技術	○								○
	A401-014-A	PLCによるタッチパネル活用技術	○		○	○	○	○	○		○
	A401-015-A	PLCによるFAネットワーク構築技術					○	○	○		
	A401-016-A	PLCによる通信システム構築技術				○					
	A401-017-A	電気設計CADを活用した制御盤設計技術							○		
	A401-022-A	有接点シーケンス制御の実践技術	○	○	○	○	○	○	○		○
	A402-024-A	マイコン制御システム開発技術			○	○		○			
	A402-026-A	機械制御のためのマイコン実践技術								○	
	A402-037-A	パソコンによる計測制御システム技術						○			
	A402-061-A	表計算ソフトを活用したデータ通信プログラミング				○					
	A402-Z01-A	マイコンを用いたワイヤレス通信制御システム構築								○	
	A403-005-A	組込み技術者のためのプログラミング			○	○				○	
	A403-012-A	組込みデータベースシステム開発技術	○								
	A403-015-A	リアルタイムOSによる組込みシステム開発技術				○					
	A403-019-A	組込みLinuxによるネットワークプログラミング技術						○			
	A403-017-A	組込みOS実装技術				○					
	A403-020-A	組込みLinuxによるTCP/IP通信システム構築	○								
	A403-021-A	オブジェクト指向による組込みプログラム開発技術			○	○					
	A403-051-A	センサを活用したIoTアプリケーション開発技術				○					
	A403-060-A	クラウドを利用した組込みマイコン活用技術				○					

【電気・電子系】

分 類 (中分類)	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 長野	ポリテク 松本	ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井
制御 システム設計	A403-061-A	クラウド活用によるIoTシステム構築技術				○					
	A403-063-A	スマートデバイスを活用したIoT機器開発	○								
	A404-008-A	実習で学ぶ画像処理・認識技術				○		○			
	A404-009-B	オープンソースによる画像処理・認識プログラム開発								○	
	A404-019-A	機械学習による欠陥検査・物体認識の高度化技術						○			
	A404-022-A	AI活用による画像認識システムの開発								○	
	A404-025-A	ディープラーニングシステム開発技術				○					
	A405-014-A	産業用ロボット活用技術						○			
	A405-017-A	協働ロボットプログラミング制御技術						○			
	A405-018-A	協働ロボットを活用した自動化システム構築技術						○			
	A406-008-A	空気圧実践技術		○	○			○			○
	A406-014-A	PLCによる電気空気圧技術					○				
生産 システム設計	A499-003-A	オープンソフトウェアライブラリを用いた人工知能(AI)活用技術				○				○	
	A502-007-A	Webを活用した生産支援システム構築技術				○					
	A502-017-A	無線センサネットワーク活用による製造現場監視技術				○		○			
	A503-009-A	FAセンサ活用技術					○				
電力・電気・ 設備設計	A503-Z07-A	ロボットシステム設計技術			○				○		
	A602-006-A	CADによる電気設備の設計技術							○		
通信設備・通信 システム設計	A702-001-A	有線・無線通信プロトコルの解析・評価手法				○					
	A703-002-A	製造現場におけるLAN活用技術				○	○	○			
	A703-022-A	製造現場内ネットワークの構築					○				
機械組立／ システム組立	B302-001-A	基板製作に係る鉛フリーはんだ付け技術				○					
電力・電気・ 通信設備工事	C102-006-A	一般用電気工作物の施工技術							○		
	C105-005-A	VLAN間ルーティング技術			○		○			○	
	D102-001-A	電気回路の計測技術						○			
測定・検査	X102-001-A	電気系保全実践技術			○	○	○	○			
	X102-Z01-A	実習で学ぶ制御盤の安全検証試験			○						
	X102-Z01-A	空気圧機器の保全と省エネルギー対策技術					○				
	X103-002-A	高圧電気設備の保守点検技術					○		○		
	X103-003-A	低圧電気設備の保守点検技術					○				
	X103-005-A	保護継電器の評価と保護協調							○		
	X103-006-A	自家用電気工作物の高圧機器技術					○				
	X104-004-A	現場のための電気保全技術	○		○	○		○	○		○
	X105-004-A	太陽光発電システムのメンテナンス技術					○				
工場管理	X301-020-A	製造業における生産プロセスのIoT活用技術						○			

【居 住 系】

分 類 (中分類)	分類番号	コ ー ス 名	施 設								
			ポリテク 長野	ポリテク 松本	ポリテク 新潟	新潟 短大校	ポリテク 富山	北陸 能開大	ポリテク 石川	石川 短大校	ポリテク 福井
建築計画／ 建築意匠設計	A801-007-A	BIMを用いた建築設計技術	○			○					
	A803-002-A	住宅計画実践技術				○					
	A804-003-A	実践建築設計3次元CAD技術	○		○	○					
	A804-004-A	実践建築設計2次元CAD技術			○	○					○
	A804-005-A	ARを活用した建築プレゼンテーション技法				○					
	A804-006-A	VRソリューションを活用した実践建築設計3次元CAD技術	○								
建築構造設計	A808-001-A	地理情報システムの運用技術				○					
	A901-002-A	木造住宅における壁量計算技術				○					
	A901-004-A	木造住宅の架構設計技術				○					
建築設備工事	A901-005-A	木造住宅における許容応力度設計技術				○					
	C202-001-A	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	○						○		○
測定・検査	C203-001-A	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術	○		○				○		○
	C301-021-B	BIMを用いた建築生産設計技術	○								
建築施工	C302-003-A	住宅建築測量技術				○					

◎ 北陸ブロック 能力開発施設のご案内

新潟職業能力開発短期大学校は裏表紙をご覧ください。

ポリテクセンター新潟 (新潟職業能力開発促進センター)

〒940-0044 新潟県長岡市住吉3丁目1番1号
TEL 0258-37-0450 FAX 0258-33-2422

交通アクセス

- 徒歩…長岡駅東口より南へ約1.4km約17分
- バス…長岡駅東口7番線発（市内循環バスを除く）
ポリテクセンター新潟下車
- タクシー…長岡駅東口より約5分

ポリテクセンター富山 (富山職業能力開発促進センター)

〒933-0982 富山県高岡市ハケ55
TEL 0766-28-6901 FAX 0766-28-6931

交通アクセス

- バス…高岡駅より
「富山高岡キャンパス經由城光寺運動公園行」
（乗車約20分）
「富山高岡キャンパス」バス停下車（徒歩約1分）
- 電車…高岡駅より万葉線電車（乗車約20分）「米島口」下車
（徒歩約15分）
- タクシー…高岡駅より（約15分）

北陸職業能力開発大学校 (北陸ポリテクカレッジ)

〒937-0856 富山県魚津市川縁1289-1
TEL 0765-24-2204 FAX 0765-24-4770

交通アクセス

- バス…魚津市民バス（中島ルート）魚津駅前より
「北陸職業能力開発大学校前」下車（徒歩約1分）
- 電車…あいの風とやま鉄道「魚津駅」下車、タクシー約10分
富山地方鉄道方「西魚津駅」下車（徒歩約20分）

ポリテクセンター石川 (石川職業能力開発促進センター)

〒920-0352 石川県金沢市観音堂町へ-1
TEL 076-267-8864 FAX 076-267-0819

交通アクセス

- バス…中橋バス停より
「金石行き、大野港（または大野）行」（乗車約15分）
「観音堂」バス停下車（徒歩約3分）
- 車…金沢東ICより約20分、金沢西ICより約10分、金沢駅より約20分

石川職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ石川)

（一時移転先 北陸職業能力開発大学校キャンパス内）
〒937-0856 富山県魚津市川縁1289-1
TEL 0765-23-0169 FAX 0765-24-4770

ポリテクセンター福井 (福井職業能力開発促進センター)

〒915-0853 福井県越前市行松町25-10
TEL 0778-23-1011 FAX 0778-23-1013

交通アクセス

- 電車…ハピライン「王子保駅」下車徒歩約20分
北陸新幹線「越前たけふ駅」下車タクシー約8分
- バス…ハピライン「武生駅」より福井鉄道バス「ポリテクセンター福井前」下車すぐ
ハピライン「武生駅」より越前市民バス「ポリテクセンター」下車すぐ
- タクシー…北陸新幹線「越前たけふ駅」より約8分

ポリテクセンター長野 (長野職業能力開発促進センター)

〒381-0043 長野県長野市吉田4-25-12
TEL 026-243-7805 FAX 026-243-2797

交通アクセス

- ＪＲ…北長野駅から徒歩約10分（線路沿いの歩道橋を渡り、東へ約1km）
- バス…（運動公園線）吉田東町停留所から徒歩約3分
- 長野電鉄…（長野方面）信濃吉田駅から徒歩約15分
（須坂方面）朝陽駅から徒歩約15分

ポリテクセンター松本 (松本訓練センター)

〒399-0011 長野県松本市寿北7-17-1
TEL 0263-58-3392 FAX 0263-58-5062

交通アクセス

- ＪＲ…平田駅から徒歩約20分
- アルピコバス…（寿台線）竹淵停留所から徒歩約10分 西原停留所から徒歩約5分

Q 受講申し込みは
どのようにしたらよいですか？

A 事前にお電話で希望コースの空き状況をご確認ください。空き状況確認後、「能力開発セミナー受講申込書」に必要事項を記入の上、FAXまたは郵送、持参によりお申込みください。

Q 「能力開発セミナー受講申込書」に
なぜ生年月日を記入する必要があるのですか？

A 所定の要件を満たした方に訓練の修了書を交付するため、必要となります。

Q 申し込んだコースをキャンセルしたいのですが
どのようにしたらよいのですか？

A コース開始日の7日前までにご連絡ください。この手続きをしないで欠席された場合、受講料を全額ご負担いただくことになります。

Q 希望するコースが定員に達している場合は
どのようにしたらよいのですか？

A 「キャンセル待ち」としてお申し込みを受け付けることが可能です。キャンセルにより定員に空きが生じた時点で順次ご案内いたします。キャンセル待ちが多い場合は別途コースを設けることもあります。

Q 申し込んだコースを欠席する場合は
どのようにしたらよいのですか？

A お電話にてご連絡ください。

Q 各コースの会場(教室)へは
どのように行けばよいのですか？

A 事前に送付する受講票に会場を記載しています。また、コース開始日に本館玄関ホールのご案内板にて会場を確認され、直接会場へお越しください。

Q 駐車場は利用できますか？

A 駐車場(無料)を整備しております。駐車場内での事故等につきましては、当校では責任を負いかねますのでご了承ください。

Q 受講料の納入は
どのようにしたらよいですか？

A セミナー開講日の10日前を目途に受講料の「請求書」、「受講票」を送付いたしますので、セミナー開講の7日前までに指定の銀行口座にお振込みください。なお、現金でのお取り扱いはありませんのであらかじめご了承ください。振込手数料はお客様のご負担となります。

Q 申し込んだコースが中止または
変更になることはありますか？

A 受講申し込みが一定の人数に達していない場合や講師の都合等、やむを得ない事情により中止または日程変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、中止コースの受講料を既にお支払い済みの場合は返金させていただきます。

Q 受講する際の服装・持ち物は
どのようにしたらよいのですか？

A パンフレット等の「持参品」欄や「備考」欄に記載がない場合は、服装に特に決まりはございません。ただし、旋盤、フライス盤、溶接関係のセミナーなど「持参品」欄や「備考」欄に作業服等の指定がある場合は、ご確認のうえご持参願います。

Q 食堂や自動販売機はありますか？

A 食堂はございますが、売り切れになる場合もあります。土日祝日は、近隣にスーパーがあります。昼食をご持参いただくことも可能です。また、飲み物の自動販売機はございますが、タバコの自動販売機はございません。なお、食堂は土・日・祝祭日・学生の休暇時などにご利用できません。

Q 宿泊施設はありますか？

A 当大学には宿泊施設はございません。ご宿泊の必要がある方は、お手数ですが、近隣の宿泊施設を各自でご予約ください。

Q セミナー修了証書の
交付条件はありますか？

A 修了証書は出席時間が12時間以上かつ訓練時間の80%以上となる場合に交付いたします。なお、修了証書の再発行はできませんのでご了承ください。

※ 受講申込書は、コピーしてお使いください。

新潟職業能力開発短期大学校 学務援助課 宛 FAX番号【0254-23-2169】

2025年度 能力開発セミナー受講申込書

申 込 日	年 月 日			業種(※1)	
法 人 名				事業所名	
法人番号 (13桁)				(法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体、 2. 個人事業主、 3. 個人	
所 在 地	〒			TEL () — FAX () —	
企 業 規 模	29人以下 30～99人 100～299人 300～499人 500～999人 1000人以上				
教育担当者	所属部課 氏 名			TEL () — FAX () —	
受 講 区 分	1. 会社からの指示による受講 2. 個人での自己受講 (該当する項目に○印をご記入下さい) ※受講区分が「1」の場合、受講者が所属する会社の代表者の方 (事業主、営業所長、工場長等) にアンケートへのご協力をお願いしております。				
コース番号	コ ー ス 名	受講者氏名 (生年月日)		連絡先 (〒／住所／TEL) ※送付先が会社の場合は記入の必要はありません	受講票送付先
		(カナ) 氏名	() 男・女	〒 TEL () —	1. 会社 2. 個人
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
		(カナ) 氏名	() 男・女	〒 TEL () —	1. 会社 2. 個人
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
		(カナ) 氏名	() 男・女	〒 TEL () —	1. 会社 2. 個人
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
		(カナ) 氏名	() 男・女	〒 TEL () —	1. 会社 2. 個人
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
		(カナ) 氏名	() 男・女	〒 TEL () —	1. 会社 2. 個人
就業状況 (該当に○印)		1. 正社員 2. 非正規社員 3. その他 (自営業等)		※就業状況の非正規社員とは一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。	
訓練に関連する経験・技能等 (※2)					

※1 業種は、以下の20種のうち該当するものを1つ選んでください。
A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業
I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業
O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業

※2 訓練を進める上での参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。(例：切削加工の作業に約5年間従事)

※ 受付は先着順とさせていただきますが、原則として事業主団体・企業からの申込みを優先し、受講決定いたしますので、ご了承ください。

☐ お申し込み方法とキャンセル
事前にお電話で、ご希望のコースの空き状況を確認してから1ヶ月前までにお申し込みください。(0254-22-1781)
お申し込みは「受講申込書」をFAX・郵送・持参によりお受けします。【電話での受付はしていません】
お申し込み後の「キャンセル」は、開講日7日前までに学務援助課へご連絡ください。
【開講日前6日以内のキャンセルは、受講料の返還はできませんので、ご了承ください】

☐ セミナー開講と受講料のお振込み
・実施の場合は、開講日の10日前をめどに「受講決定通知書」「受講票」及び受講料払い込み口座等を記載した「請求書」を送付します。
・受講料払い込みは、原則としてセミナー開始7日前までに銀行の指定口座へお願いします。
【払い込みがない場合は受講できなくなることがありますので、ご注意ください】

☐ コースの中止と変更
・当校の都合により中止または日程の変更をすることがありますのでご了承ください。この場合は、セミナー開始日までに電話にてご連絡いたします。

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的
●独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
●ご記入いただいた個人情報については能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。受講区分欄の1を選択された方は、申込担当者様あてに送付いたします。
●今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。 ☐ 希望する ☐ 希望しない

お問い合わせ先

**新潟職業能力開発短期大学校
(ポリテクカレッジ新潟)**

【学務援助課】

〒957-0017 新潟県新発田市新富町1丁目7番21号
TEL 0254-22-1781 FAX 0254-23-2169
<https://www3.jeed.go.jp/niigata/college/>

交通アクセス

- ◆ JR
白新線・羽越本線 新発田駅下車
新発田駅西口より徒歩約20分
- ◆ 車（一般道路）
国道7号線・新新バイパス・聖籠新発田ICより約12分
- ◆ 車（高速道路）
日本海東北自動車道・聖籠新発田ICより約12分



ハロトレニング
—— 急がば学べ ——

公的職業訓練の愛称・
キャッチフレーズです。

